

令和7年度

広島大学病院
歯科医師臨床研修プログラム

広島大学病院歯科領域卒後臨床研修管理委員会

広島大学病院歯科領域臨床教育センター

広島大学病院の理念

私たちは、国民の健康と福祉の向上のために、
次の理念を掲げています。

- 全人的医療の実践
- 優れた医療人の育成
- 新しい医療の探求

目 次

【Ⅰ】 研修プログラムの概要	p.2
【Ⅱ】 研修内容及び到達目標	p.8
【Ⅲ】 広島大学病院歯科領域の診療科等組織図	p.13
【Ⅳ】 研修カリキュラム	p.14
【Ⅴ】 研修の管理・運営組織	p.31
【Ⅵ】 研修歯科医の評価・修了認定	p.39
参考：様式等	p.46

広島大学病院歯科医師臨床研修

研修責任者

広島大学病院 病院長 安達 伸生
広島大学病院 主席副病院長 谷本 幸太郎

プログラム責任者

プログラム名	プログラム責任者	副プログラム責任者
広島大学病院歯科医師臨床研修 プログラムA	西 裕美	小野 重弘
広島大学病院歯科医師臨床研修 プログラムB	河口 浩之	長崎 信一

- * 広島大学病院歯科医師臨床研修プログラムA(かかりつけ歯科研修)
将来の患者中心の包括的歯科医療を行うために、地域基盤型のかかりつけ歯科、予防歯科・口腔ケア、総合歯科についての基本的臨床能力(態度、技能及び知識)を習得する。
- * 広島大学病院歯科医師臨床研修プログラムB(病院総合歯科・先端歯科研修)
将来の患者中心の包括的歯科医療及び先端歯科医療を行うために、総合歯科・先端歯科の基礎についての基本的臨床能力(態度、技能及び知識)を習得する。

【I】研修プログラムの概要

1. 研修方法(研修プログラムの特色)

広島大学病院歯科医師臨床研修プログラムA (かかりつけ歯科研修)

《臨床研修施設群方式》

初期研修(1ヶ月)と本研修(11ヶ月)を含めて、広島大学病院、協力型(Ⅱ)臨床研修施設及び研修協力施設で総合歯科医療の研修(7ヶ月)をローテート方式にて行い、協力型(Ⅰ)臨床研修施設で地域基盤型かかりつけ歯科医療の研修(5ヶ月)を行う。

広島大学病院歯科医師臨床研修プログラムB (病院総合歯科・先端歯科研修)

《単独方式》

初期研修(1ヶ月)と本研修(11ヶ月)を含めて、広島大学病院及び研修協力施設で12ヶ月間のローテート方式の研修を行う。

以下の専門診療科(全13科)から選択

分野名	診療科名
歯系総合診療科	口腔総合診療科
口腔健康発育歯科	口腔健康科, 矯正歯科, 小児歯科, 障害者歯科
口腔維持修復歯科	歯科保存診療科, 歯周診療科, 口腔インプラント診療科, 咬合・義歯診療科
口腔再建外科	顎・口腔外科, 口腔顎顔面再建外科, 歯科放射線科, 歯科麻酔科

※ 研修診療科を2～3か月でローテートする。

※ 研修診療科は、専門診療科の中から研修歯科医が選択することとするが、臨床研修の到達目標が達成できるよう、プログラム責任者が研修先、研修時期等を指導(指定)することがある。

※ プログラム責任者の判断により必要に応じて、各プログラムに設けた基礎トレーニングに重点を置く個別のコースで研修を行うことがある。

2. 年間スケジュール

広島大学病院歯科医師臨床研修プログラムA (かかりつけ歯科研修)

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3月
広島大学病院 (2ヶ月)		協力型(Ⅰ)臨床研修施設(5ヶ月)					広島大学病院(5ヶ月) 研修協力施設(3日)及び協力型(Ⅱ)臨床研 修施設(5日)を含む				

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3月
広島大学病院(7ヶ月) 協力型(Ⅱ)臨床研修施設(5日)及び研修協力施設(3日)を含む							協力型(Ⅰ)臨床研修施設(5ヶ月)				

※上段は6月から、下段は11月から、協力型(Ⅰ)臨床研修施設での研修を開始する場合。出向先は5月に決定する。

広島大学病院歯科医師臨床研修プログラムB（病院総合歯科・先端歯科研修）

4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3月
広島大学病院でのローテート方式での研修(12ヶ月) 研修協力施設(3日)を含む											

AB共通

4月:オリエンテーション 2月:到達度評価表等提出 3月:研修修了認定

3. 研修施設

(1) 歯科医師臨床研修制度における研修施設と研修内容

名称	単独型・管理型 臨床研修施設	協力型(I) 臨床研修施設	協力型(II) 臨床研修施設	研修協力施設
	歯科診療所, 病院歯科			保健所, 福祉施設, 公益法人等
研修内容	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的臨床技能 ・口腔プライマリケア ・包括的総合歯科医療 ・救命救急トレーニング(BLS) ・口腔領域の検査と診断 ・医療倫理, 態度, モラル ・医療コミュニケーション ・医療面接(初診面接, インフォームド・コンセント, 指導) ・NBIM(対話に基づく医療) ・安全管理 ・感染対策 ・リスク管理 ・医療の質管理と向上 ・保険請求 ・医療経済・効果 ・医療統計 ・医療連携 ・チーム医療 ・EBM(証拠に基づく医療) 	<ul style="list-style-type: none"> ・かかりつけ歯科医療 商業地, 市街地, 住宅地, 近郊, 過疎・僻地(山間, 離島) ・病院歯科医療 ・訪問歯科医療 家庭, 病院, 福祉施設 ・摂食・嚥下検査 ・保健活動 むし歯・歯周病予防活動 禁煙指導, 口腔衛生指導 啓蒙活動 ・離島・僻地歯科医療活動 ・ボランティア活動(国内外) ・スタッフ間のコミュニケーション ・チーム医療 ・歯科医院の経営 ・保険請求 	<ul style="list-style-type: none"> ・口腔ケア 高齢者, 要介護者 終末期 ・地域歯科保健活動 健診(妊産婦, 1.5歳, 3歳, 学校健診, 成人健診) 歯科疾患予防活動 ・社会福祉活動 ボランティア活動 ・歯科医師会活動 8020, 5525 事業など ・公衆衛生, 生涯研修活動 ・接遇, コミュニケーション 	

(2) 単独型・管理型臨床研修施設(広島大学病院)

広島大学病院の歯科領域 13科から選択しローテート		プログラム別研修期間		給与等負担
		A	B	
歯系総合診療科	口腔総合診療科	7ヶ月	12ヶ月	大学病院
口腔健康発育歯科	口腔健康科, 矯正歯科, 小児歯科, 障害者歯科			
口腔維持修復歯科	歯科保存診療科, 歯周診療科, 口腔インプラント診療科, 咬合・義歯診療科			
口腔再建外科	顎・口腔外科, 口腔顎顔面再建外科, 歯科放射線科, 歯科麻酔科			

中央診療施設等	※以下、個別に研修 特殊歯科総合治療部、地域連携歯科医療部、 歯科技工室、歯科衛生室、口腔検査センター、 あんしん歯科治療室、 口腔インプラントセンター、 唇顎口蓋裂総合成育医療センター			
運営支援部	医事グループ			

(3) 協力型(I)臨床研修施設

研修施設		研修期間	給与等負担	
歯科診療所 病院歯科 (口腔外科)	広島県 医療法人社団東広会 まこと歯科医院 竹中歯科医院 おおつぼ歯科クリニック 医院 歯の健康ドクター 医療法人社団 柄歯科医院 医療法人社団 健口会 長畑歯科医院 公立みつぎ総合病院 うえはら歯科医院 マツダ株式会社 マツダ病院 生協歯科ひろしま 医療法人社団 おおぞら会 おかもと歯科医院 アイリス歯科 コープ共立歯科 国家公務員共済組合連合会 呉共済病院 独立行政法人労働者健康安全機構 中国労災病院 松本歯科医院 土井ファミリー歯科医院 地方独立行政法人広島市立病院機構 広島市立北部医療センター安佐市民病院 医療法人社団湧泉会 ひまわり歯科 きよはら歯科クリニック トーマス歯科クリニック	広島市 安芸郡府中町 広島市 東広島市 広島市 安芸郡海田町 尾道市 呉市 安芸郡府中町 広島市 呉市 広島市 広島市 呉市 呉市 呉市 呉市 広島市 広島市 安芸郡海田町 広島市 広島市	プログラムA 5ヶ月	協力型(I) 臨床研修施設
	他府県 つだ歯科 しまだ歯科医院 すずき歯科医院 永井歯科・矯正歯科 こやま歯科医院 医療法人社団 徳誠会 イオンモール姫路大津歯科・矯正歯科	兵庫県姫路市 山口県防府市 静岡県袋井市 兵庫県尼崎市 山口県周南市 兵庫県姫路市		

(4) 協力型(Ⅱ)臨床研修施設

研修施設			研修期間	給与等負担	
歯科診療所 病院歯科 (口腔外科)	広島県	医療法人あした会 中西歯科・こども矯正歯科 医療法人社団 本山歯科医院 フェローデンタルクリニック 一般社団法人広島県歯科医師会 広島口腔保健センター 大原駅前歯科 医療法人 幸美会 なかむら歯科クリニック 医療法人小西歯科医院 小西歯科小児歯科医院 ホワイト歯科往診クリニック ミモザ歯科 医療法人社団 敬崇会 猪原[食べる]総合歯科医療クリニック ツノダ歯科三篠横川クリニック すずき歯科小児歯科矯正歯科	広島市 広島市 広島市 広島市 広島市 福山市 府中市 広島市 広島市 福山市 広島市 広島市	5日 (大学病院 での研修 期間中)	大学病院
	他府県	カナザキ歯科 医療法人 藤浪歯科 おくだ歯科・矯正歯科 医療法人 松友歯科クリニック 医療法人おひさま 香坂歯科医院 医療法人つばい歯科クリニック おとなこども矯正歯科 ゆたに歯科クリニック 千里山田兄弟歯科 医療法人たんぽぽ会 おおとり歯科	愛媛県松山市 大阪府大阪市 岐阜県可児市 愛媛県松山市 山口県岩国市 山口県岩国市 兵庫県明石市 大阪府豊中市 大阪府堺市		

(5) 研修協力施設

研修施設			研修期間	給与等負担
(1) 公益法人など	一般社団法人 広島県歯科医師会 一般社団法人 広島市歯科医師会 一般社団法人 福山市歯科医師会 広島大学歯学部同窓会	広島市 広島市 福山市 広島市	3日	大学病院
(2) 保健所・福祉施設など	東広島市こども家庭課	東広島市		
(3) 学校・大学など	学校法人石田学園 広島経済大学 広島大学附属小学校 広島大学附属中学校 広島大学附属高等学校 広島大学附属東雲小学校 広島大学附属東雲中学校	広島市 広島市 広島市 広島市 広島市 広島市		
(4) 非営利団体・組織など	岡山 SP 研究会 広島 SP 研究会	岡山県岡山市 広島市		

4. プログラムの管理運営と指導体制

- ① 広島大学病院歯科医師臨床研修プログラムの実施及び運営は、病院長のもとに設置する歯科領域卒後臨床研修管理委員会があたる。歯科領域卒後臨床研修管理委員会委員は、各研修プログラムの管理にあたる。

- ② 広島大学病院歯科医師臨床研修プログラムの実施あるいは運営上の諸問題は、歯科領域卒後臨床研修管理委員会の報告をもとに、病院運営会議の議を経て、病院長が決定する。

研修プログラムの管理・指導体制

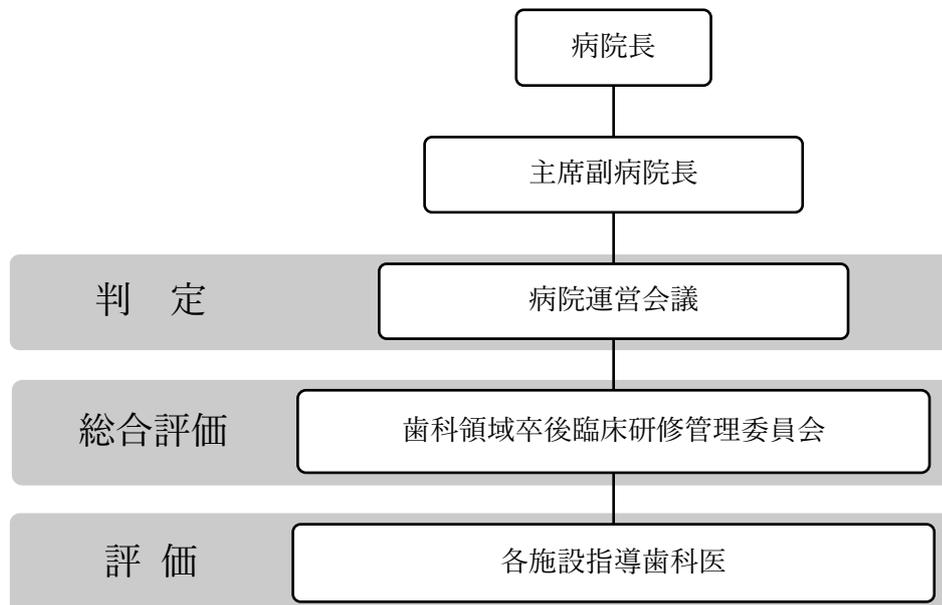
指導歯科医の指導監督の下、上級歯科医による屋根瓦方式を基本とする。

単独型・管理型 臨床研修施設 (広島大学病院)	指導歯科医：指導歯科医(臨床経験5年以上, 臨床教育歴3年以上, 講習会の受講) 指導歯科衛生士：大学病院の認定(臨床経験5年以上) 指導歯科技工士：大学病院の認定(臨床経験5年以上) 指導医療者(医師, 薬剤師, 技師, 看護師)：大学病院の認定(臨床経験5年以上) 指導専門事務職員：大学病院の認定(業務経験3年以上)
協力型(I)(II) 臨床研修施設	指導歯科医：臨床経験7年以上, 講習会の受講, 都道府県歯科医師会の推薦
研修協力施設	指導担当者：厚生労働省の資格に準じ, 広島大学病院が認定する。

5. 研修歯科医の到達度の評価と修了認定

臨床研修修了時に、歯科領域卒後臨床研修管理委員会の研修評価をもとに病院運営会議の議を経て、病院長がその修了認定の可否を判定し、修了認定された者には臨床研修修了証を交付する。

- (1) 時期：令和8年3月末日
- (2) 評価：
 - ・単独型・管理型臨床研修施設：大学病院指導歯科医による評価
 - ・協力型(I)(II)臨床研修施設：指導歯科医による評価
- (3) 判定：管理型及び単独型研修における評価結果を歯科領域卒後臨床研修管理委員会にて総合評価し、病院運営会議の議を経て、病院長が修了認定の可否を判定する。
- (4) 判定組織の概略：



(5) 研修到達度の評価法

- ① 広島大学病院歯科医師臨床研修到達度評価(オンライン歯科臨床研修評価システム2(DEBUT2))
4段階評価(A:極めて十分達成できた、B:十分達成できた、C:一応達成できた、D:達成できなかった)
- ② 観察記録
- ③ プレゼンテーション(症例発表)
- ④ ポートフォリオ:自己評価記録

(6) 研修到達度評価の判定法

修了認定を満たす条件:

- ① 前述する(5)の全ての評価法により、本院臨床研修プログラムの必須到達目標36項目(p.11,12参照)の全てを達成したことが認められ、基本的臨床能力(知識、態度、技能、情報収集、総合判断)及び総合マネジメント力(知識、技能、態度、情報収集、総合判断)について「達成できた」と総合的に評価されること。
- ② 臨床研修の期間を通じて、プロフェッショナリズムを涵養し、専門職としての歯科医師の適性ありと評価されること。

6. 研修歯科医の採用、職名及び身分

- 1) 病院運営会議の議を経て、病院長が採用を決定する。
- 2) 採用決定にあたっては歯科領域卒後臨床研修管理委員会の評価(試験、マッチング結果など)を参考に
する。
- 3) 労働条件等
 - (1) 採用日 : 令和7年4月1日
 - (2) 身分 : 研修歯科医 契約職員(非常勤)
(歯科医籍登録が完了するまでは、研修歯科医心得として雇用する)
 - (3) 給与 : 単独型・管理型臨床研修施設 月額 約 206,000 円(令和6年度実績)
協力型(I)臨床研修施設 月額 約 156,000 円(令和6年度実績)(在籍出向の場合)
賞与なし
 - (4) 勤務時間 : 1日7時間45分(週38時間45分)勤務
 - (5) 時間外勤務 : 業務上の必要がある場合には命ずることがある。(時間外勤務手当・休日手当等あり)
 - (6) 当直 : なし
 - (7) 休日 : 土日、祝日及び年末年始
 - (8) 休暇 : 年次有給休暇(20日)、リフレッシュ休暇等
 - (9) 保険 : 健康保険(文部科学省共済組合)、厚生年金、雇用保険、労災保険
 - (10) 宿舍 : なし(住宅手当0円)
 - (11) 研修歯科医のための施設内の室 : あり
 - (12) 健康診断 : 年1回 その他、インフルエンザ予防接種、B型肝炎予防ワクチン接種、抗体検査等あり
 - (13) 外部の研修活動 : 学会・研究会等への参加可、費用支給なし
※ 研修出張又は年次有給休暇若しくは欠勤等で処理する。
 - (14) 歯科医師賠償責任保険 : 病院にて損害賠償責任保険に加入しているが、歯科医師賠償責任保険
の個人加入を強く勧めている
 - (15) 備考 : 臨床研修の1年間の身分を保障しているものではない

【Ⅱ】研修内容及び到達目標

広島大学病院歯科医師臨床研修内容及び必要症例数

※ 処置ごとに一症例とする

A. 一般的事項

1) 以下の基本的診察法を実施し、所見を説明する

項目	必要症例数	到達目標
(1) 医療面接(主訴、愁訴、来院動機、現病歴、全身既往歴、局所の既往歴、家族歴、患者背景、患者・家族との適切なコミュニケーション)	15	1-1.基本的診察・検査・診断・治療計画①
(2) 全身の観察(バイタルサインと精神状態のチェック、常用薬剤のチェックなど)	15	1-2.基本的臨床技能等④ 1-3.患者管理③
(3) 口腔外診察 (視診、触診、打診、開口度の診査、顎関節の診察など)	15	1-1.基本的診察・検査・診断・治療計画②
(4) 口腔内診察 (視診、触診、打診、歯列・咬合の診査、齲蝕の診察など)	15	1-1.基本的診察・検査・診断・治療計画②
(5) 概形印象及び研究模型による診査:咬合面並びに隣接面の診査、サベイング、咬合器を用いた咬合検査、咬合平面の診査	2	1-1.基本的診察・検査・診断・治療計画③

2) 以下の基本的検査法を実施、指示、あるいはその結果を説明する。

(1) 歯周組織検査(歯周ポケット測定、歯垢染色、歯肉出血指数、排膿度、歯の動揺、歯根面の粗さ、アタッチメントレベル、ポケット内細菌、口臭)	12	1-1.基本的診察・検査・診断・治療計画③
(2) 齲蝕検査(齲蝕病巣の検査、齲蝕活動性の検査:齲蝕リスク検査)	2	1-1.基本的診察・検査・診断・治療計画③
(3) 歯髄(温度診査、電気歯髄検査、根管細菌試験)	2	1-1.基本的診察・検査・診断・治療計画③
(4) エックス線診査 ・口内撮影法:二等分面法、偏心投影法、咬翼法、咬合法など ・口外撮影法:断層方式パノラマ撮影法、パナグラフィー撮影法、頭部後方向撮影法、Waters法、Schuler法、Grant-Lanting法、頭部軸位撮影法、頭部エックス線規格写真撮影法、断層撮影法(顎関節断層撮影法)	20 10	1-1.基本的診察・検査・診断・治療計画③ 1-1.基本的診察・検査・診断・治療計画③
(5) MRI検査(顎関節MRI検査を含む)	1	1-1.基本的診察・検査・診断・治療計画③
(6) CT検査(顎関節CT検査を含む)	1	1-1.基本的診察・検査・診断・治療計画③
(7) 顎顔面及び口腔内写真の撮影	2	1-1.基本的診察・検査・診断・治療計画③

3) 以下の基本的治療(処置)法について、手技の適応を判断し、実施する。

(1) 滅菌法、消毒法	7	1-2.基本的臨床技能等①
(2) 齲蝕活動性軽減処置(フッ素塗布、予防填塞など)	3	1-2.基本的臨床技能等①
(3) ラバーダム防湿法	3	1-2.基本的臨床技能等②b
(4) 印象採得:概形印象、精密印象など	10	1-1.基本的診察・検査・診断・治療計画③ 1-2.基本的臨床技能等②a②e
(5) 窩洞形成、支台歯形成	10	1-2.基本的臨床技能等②a②e
(6) 咬合採得:ゴシックアーチ描記など	6	1-2.基本的臨床技能等②e
(7) 齲蝕病巣の除去並びにそれに対する修復処置	10	1-2.基本的臨床技能等②a
(8) 象牙質知覚過敏症に対する処置	2	1-2.基本的臨床技能等②a
(9) 歯髄処置:覆髄法(間接覆髄、直接覆髄)、断髄法、抜髄法	1	1-2.基本的臨床技能等②b
(10) 感染根管処置(外科的歯内療法を含む)	2	1-2.基本的臨床技能等②b

(11)	支台築造, 歯冠修復	10	1-2.基本的臨床技能等②e
(12)	歯周病の治療(基本治療, 歯周外科, 固定, メインテナンス)	12	1-2.基本的臨床技能等②c
(13)	口腔外科処置(抜歯, 粘膜・骨膜切開, 粘膜・骨膜弁作成, 歯の分割, 骨の削除, 止血処置, 縫合法, 抜糸, 抜歯窩治療不全処置, 排膿処置)	7	1-2.基本的臨床技能等②d
(14)	局所麻酔法(塗布麻酔法, 浸潤麻酔法, 伝達麻酔法)	10	1-2.基本的臨床技能等②a②b②d
(15)	歯の欠損に対する架橋補綴治療(ブリッジ, 平行測定)	3	1-2.基本的臨床技能等②e
(16)	有床義歯の装着:部分床義歯, 全部床義歯など	8	1-2.基本的臨床技能等②e
(17)	咬合調整(削合, 修復, 咬合誘導, バイトプレート)	3	1-2.基本的臨床技能等②e
(18)	旧義歯調整(床裏装, 調整, 粘膜調整, ティッシュコンディショニング)	10	1-2.基本的臨床技能等②e

4) 以下の項目を経験し, 患者・家族と良好な人間関係を確立する。(患者の質問に過不足なく答えられる)

(1)	インフォームドコンセント(診断内容, 治療方針, 装置及び予後, 偶発症, 代用治療法, カウンセリングとモチベーション, コミュニケーション技法, 患者・家族のニーズと心理的側面の把握など)	15	1-1.基本的診察・検査・診断・治療計画⑥ 1-3.患者管理①④
(2)	高齢者に対する歯科治療	15	1-4.患者の状態に応じた歯科医療の提供①
(3)	全身疾患を有する患者(易感染者を含む)に対する歯科治療	15	1-4.患者の状態に応じた歯科医療の提供② 1-3.患者管理①
(4)	感染症を有する患者への対応	2	1-3.患者管理⑤

5) 以下の予防措置と保健管理を実施あるいは重要性を認識し, 適切に対応する。

(1)	齲蝕抑制と管理 (リスク判定, ブラッシング指導, フッ素塗布, 予防填塞, 生活指導, 食生活指導など)	15	1-2.基本的臨床技能等① 1-4.患者の状態に応じた歯科医療の提供①
(2)	歯周病の予防と管理 (リスク判定, プラークコントロール, 予防的スクレーピング, メインテナンス, 口臭予防)	15	1-2.基本的臨床技能等①②c 1-4.患者の状態に応じた歯科医療の提供①
(3)	不正咬合の状態の把握と患者への説明	3	1-2.基本的臨床技能等②f 1-4.患者の状態に応じた歯科医療の提供④
(4)	学校健診, 3歳児健診等の集団に対する歯科保健指導, 歯科衛生指導	5	2-3.地域保健③
(5)	口腔ケア, 口腔保健指導(要介護者, 高齢者)	10	2-2.多職種連携, 地域医療④⑤

6) 以下のチーム医療を理解し, 必要に応じて実施する。

(1)	専門医・専門歯科医, かかりつけ医・かかりつけ歯科医へのコンサルテーション	5	2-2.多職種連携, 地域医療①②
(2)	他科, 他施設への患者の医療情報提供	1	1-3.患者管理②
(3)	医師, 歯科医師, 看護師, 歯科衛生士, 歯科技工士, 放射線技師などとのチーム医療(各疾患治療, ケアにおける相互教育)	5	2-1.歯科専門職の連携①②③ 2-2.多職種連携, 地域医療⑤
(4)	小児, 高齢者, 障害者, リスク患者, 要介護者等の治療における保護者, 介護者, 付添いの家族, 看護師とのチーム医療	2	1-4.患者の状態に応じた歯科医療の提供①④ 2-2.多職種連携, 地域医療⑥

7) 以下の医療記録を適切に作成し, 管理する。

(1)	診療録(POMR)	50	1-2.基本的臨床技能等⑤
(2)	歯科技工指示書	5	1-2.基本的臨床技能等⑤ 2-1.歯科専門職の連携②
(3)	診断書及び死亡診断書	1	1-2.基本的臨床技能等⑤
(4)	保険レセプト	5	2-4.歯科医療提供に関連する制度の理解②

8) 医療における以下の社会的側面の重要性を認識し, 適切に対応する。

(1)	歯科医師法, 医療法などの関係法規, 保険医療等の制度	2	2-4.歯科医療提供に関連する制度の理解①③
-----	-----------------------------	---	------------------------

(2)	地域歯科保健活動(集団リスク診断, 集団検診, 集団に対する歯科保健指導及び歯科衛生指導, 地域特性の分析と歯科保健対策の立案など)	2	2-3.地域保健①②
(3)	訪問歯科診療(A プログラムのみ)	5	1-4.患者の状態に応じた歯科医療の提供③ 2-2.多職種連携, 地域医療③
(4)	医療事故(医療過誤, 院内感染)	2	1-2.基本的臨床技能等⑥

9) 以下の診療計画・評価が実施できる。

(1)	POS (Problem Oriented System)に立脚した医療(情報収集, プロBLEMリストの作成, 治療方法と術式の選択肢の提示, 治療計画の作成(一口腔単位としての治療計画の立案, 再評価))	15	1-1.基本的診察・検査・診断・治療計画⑤
(2)	症例の提示, 要約	15	1-1.基本的診察・検査・診断・治療計画⑥
(3)	検査結果, 治療結果の要約と記載	15	1-1.基本的診察・検査・診断・治療計画④

B. 経験すべき症状あるいは病態

10) 以下の疾患あるいは病態に対する緊急措置を経験する。

(1)	急性歯髄炎	1	1-2.基本的臨床技能等③
(2)	急性発作を伴う根尖性歯周炎	1	1-2.基本的臨床技能等③
(3)	膿瘍	1	1-2.基本的臨床技能等③
(4)	修復物, 補綴装置の脱離・破損に伴う障害	5	1-2.基本的臨床技能等③

11) 以下の頻度の高い症状あるいは病態に対する処置を経験する。

(1)	歯痛: 自発痛, 咬合痛, 打診痛, 冷・温水痛など	12	1-2.基本的臨床技能等②a②b
(2)	歯の異常: 咬合異常, 萌出異常, 動揺, 変色, 破折, 食片の圧入など	15	1-2.基本的臨床技能等②a
(3)	咀嚼障害: 歯の欠損, 不良補綴物, 歯や顎粘膜の疼痛など	3	1-2.基本的臨床技能等②e
(4)	義歯に関する異常: 破損, 不適合, 維持・安定不良, 疼痛, 咬傷, 口内炎	3	1-2.基本的臨床技能等②e
(5)	口腔粘膜の異常: 歯肉の腫脹, 出血など	3	1-2.基本的臨床技能等②d
(6)	歯周の異常: 歯肉炎, 歯周病など	15	1-2.基本的臨床技能等②c
(7)	顎関節, 顎筋の異常: 開口障害, 疼痛, 関節雑音など	1	1-2.基本的臨床技能等②e

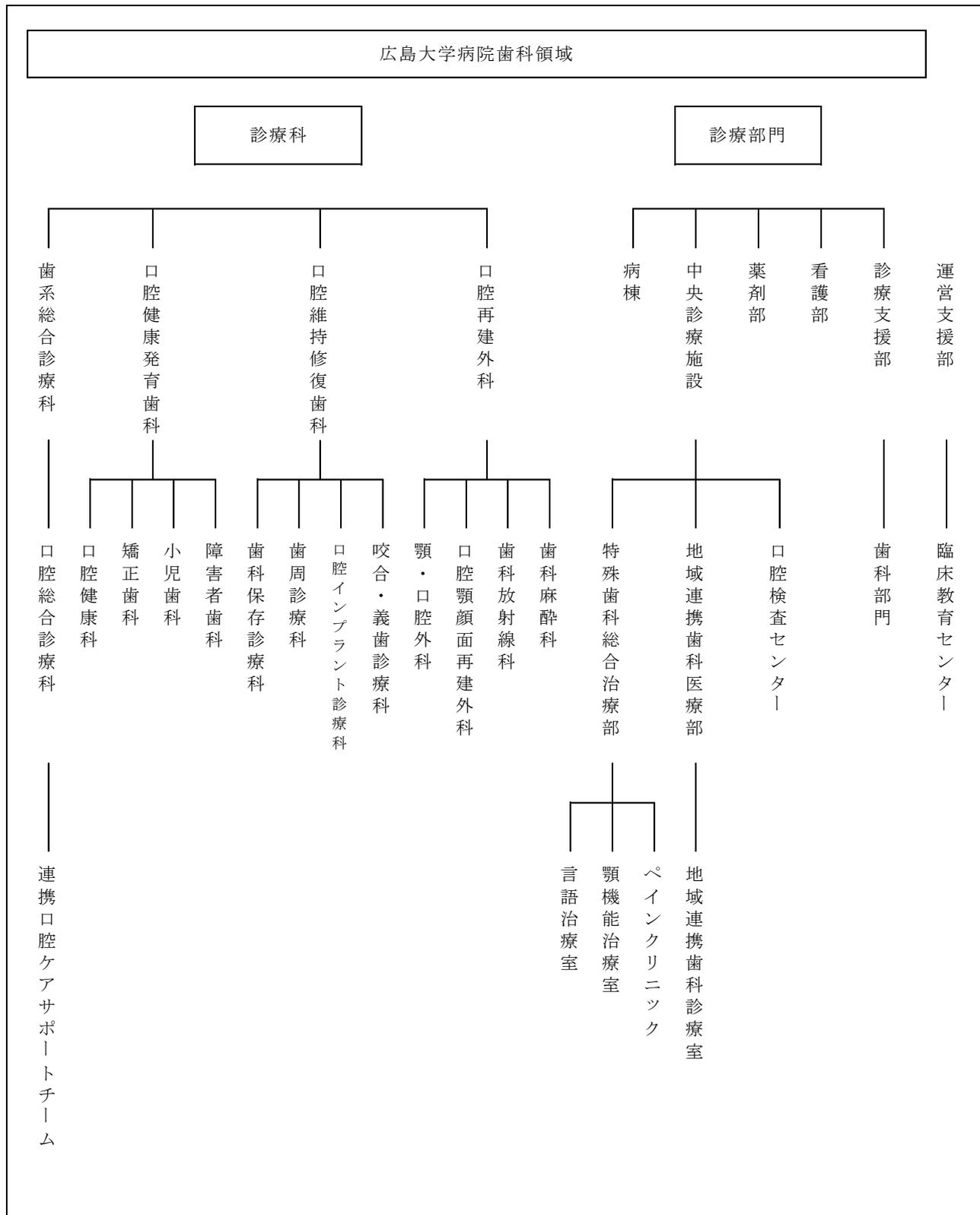
広島大学病院歯科医師臨床研修到達目標

広島大学病院歯科医師臨床研修の目標は、患者中心の全人的医療及び包括的歯科医療を理解し、全ての歯科医師に求められる基本的な臨床能力(態度、技能及び知識)を身に付け、歯科医師としてのキャリアデザイン並びに歯科医療についての質の保証及び継続的向上を図るために、卒後及び生涯を通じて研修を行うことにある。

1. 基本的診療能力等
1-1. 基本的診察・検査・診断・診療計画
① 患者の心理的・社会的背景を考慮した上で、適切に医療面接を実施する。
② 全身状態を考慮した上で、顎顔面及び口腔内の基本的な診察を実施し、診察所見を解釈する。
③ 診療所見に応じた適切な検査を選択、実施し、検査結果を解釈する。
④ 病歴聴取、診察所見及び検査結果に基づいて歯科疾患の診断を行う。
⑤ 診断結果に基づき、患者の状況・状態を総合的に考慮した上で、考え得る様々な一口腔単位の治療計画を検討し、立案する。
⑥ 必要な情報を整理した上で、わかりやすい言葉で十分な説明を行い、患者及び家族の意思決定を確認する。
1-2. 基本的臨床技能等
① 歯科疾患を予防するための口腔衛生指導、基本的な手技を実践する。
② 一般的な歯科疾患に対応するために必要となる基本的な治療及び管理を実践する。 a. 歯の硬組織疾患 b. 歯髄疾患 c. 歯周病 d. 口腔外科疾患 e. 歯質と歯の欠損 f. 口腔機能の発達不全、口腔機能の低下
③ 基本的な応急処置を実践する。
④ 歯科診療を安全に行うために必要なバイタルサインを観察し、全身状態を評価する。
⑤ 診療に関する記録や文書(診療録、処方せん、歯科技工指示書等)を作成する。
⑥ 医療事故の予防に関する基本的な対策について理解し、実践する。
1-3. 患者管理
① 歯科治療上問題となる全身的な疾患、服用薬剤等について説明する。
② 患者の医療情報等について、必要に応じて主治の医師等と診療情報を共有する。
③ 全身状態に配慮が必要な患者に対し、歯科治療中にバイタルサインのモニタリングを行う。
④ 歯科診療時の主な併発症や偶発症への基本的な対応法を実践する。
⑤ 入院患者に対し、患者の状態に応じた基本的な術前・術後管理及び療養上の管理を実践する。
1-4. 患者の状態に応じた歯科医療の提供
① 妊娠期、乳幼児期、学齢期、成人期、高齢期の患者に対し、各ライフステージに応じた歯科疾患の基本的な予防管理、口腔機能管理について理解し、実践する。
② 各ライフステージ及び全身状態に応じた歯科医療を実践する。
③ 在宅療養患者等に対する訪問歯科診療を経験する。(A プログラムのみ)
④ 障害を有する患者への対応を実践する。
2. 歯科医療に関連する連携と制度の理解等
2-1. 歯科専門職の連携
① 歯科衛生士の役割を理解し、予防処置や口腔衛生管理等の際に連携を図る。

② 歯科技工士の役割を理解し、適切に歯科技工指示書を作成するとともに、必要に応じて連携を図る。
③ 多職種によるチーム医療について、その目的、各職種の役割を理解した上で、歯科専門職の役割を理解し、説明する。
2-2. 多職種連携, 地域医療
① 地域包括ケアシステムについて理解し、説明する。
② 地域包括ケアシステムにおける歯科医療の役割を説明する。
③ 訪問歯科診療の実施にあたり、患者に関わる医療・介護関係職種の役割を理解し、連携する。(A プログラムのみ)
④ がん患者等の周術期等口腔機能管理において、その目的及び各専門職の役割を理解した上で、多職種によるチーム医療に参加し、基本的な口腔機能管理を経験する。
⑤ 歯科専門職が関与する多職種チーム(例えば栄養サポートチーム、摂食嚥下リハビリテーションチーム、口腔ケアチーム等)について、その目的及び各専門職の役割を理解した上で、チーム医療に参加し、関係者と連携する。
⑥ 入院患者の入退院時における多職種支援について理解し、参加する。
2-3. 地域保健
① 地域の保健・福祉の関係機関、関係職種を理解し、説明する。
② 保健所等における地域歯科保健活動を理解し、説明する。
③ 歯科健診を経験し、地域住民に対する健康教育を経験する。
2-4. 歯科医療提供に関連する制度の理解
① 医療法や歯科医師法をはじめとする医療に関する法規及び関連する制度の目的と仕組みを理解し、説明する。
② 医療保険制度を理解し、適切な保険診療を実践する。
③ 介護保険制度の目的と仕組みを理解し、説明する。

【Ⅲ】広島大学病院歯科領域の診療科等組織図



【IV】研修カリキュラム

1. 広島大学病院歯科医師臨床研修プログラムA：かかりつけ歯科研修

(1) 初期研修

期間：令和7年4月1日～令和7年4月30日

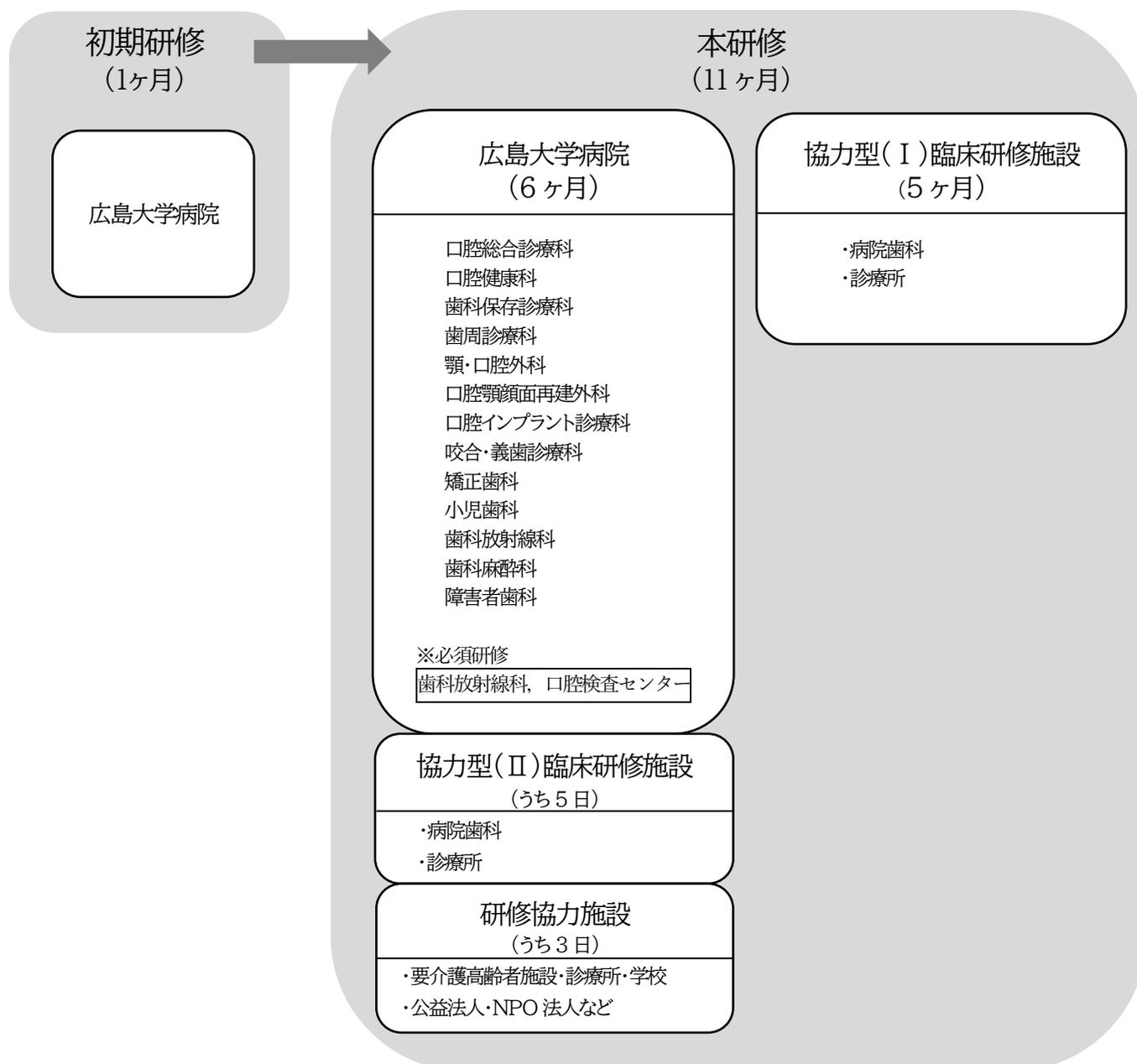
場所：広島大学病院

(2) 本研修

期間：令和7年5月1日～令和8年3月31日

場所：6ヶ月間 → 大学病院, 協力型(Ⅱ)臨床研修施設(5日)及び研修協力施設(3日)

5ヶ月間 → 協力型(Ⅰ)臨床研修施設



2. 広島大学病院歯科医師臨床研修プログラムB：病院総合歯科・先端歯科研修

(1) 初期研修

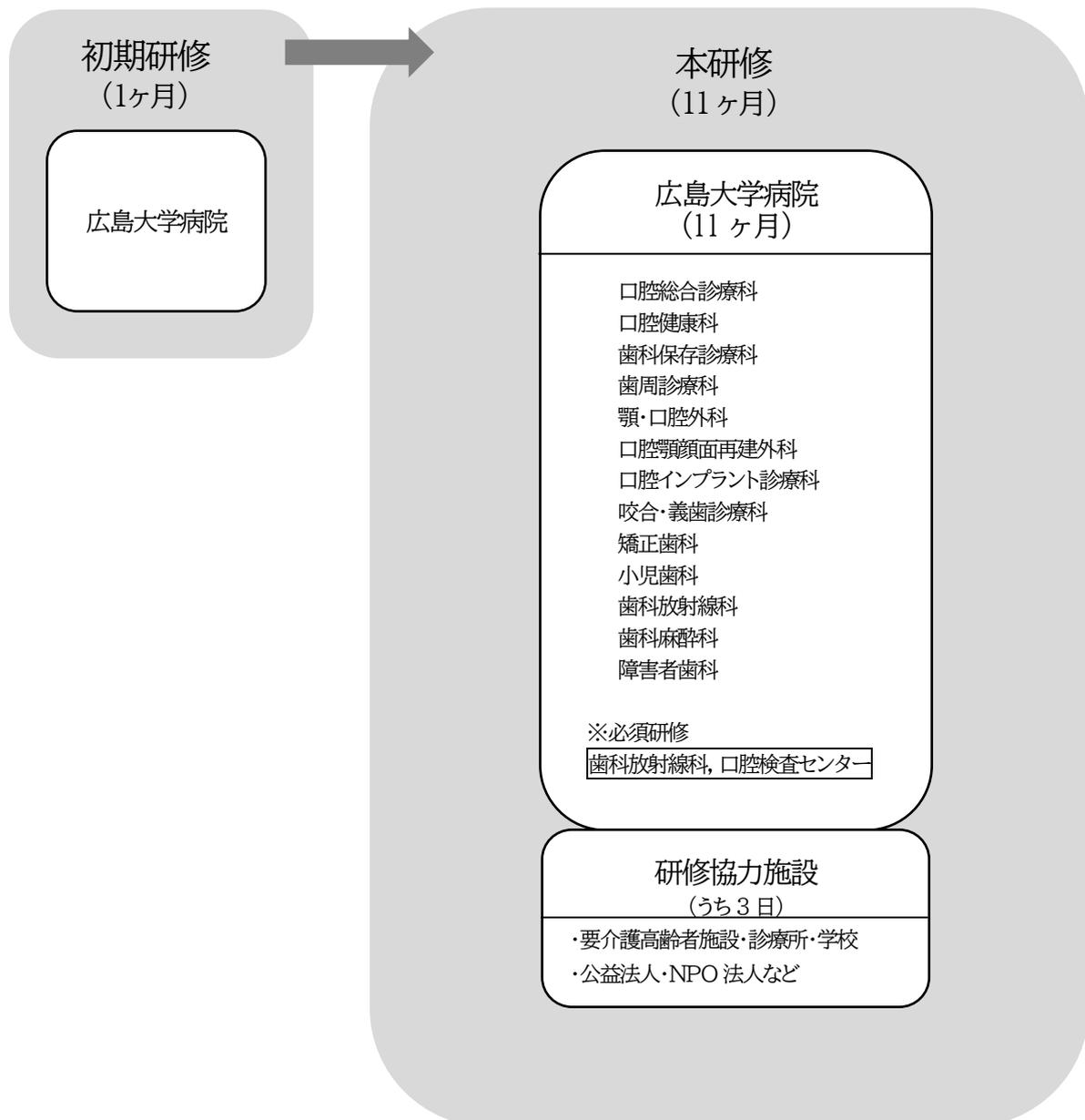
期間：令和7年4月1日～令和7年4月30日

場所：広島大学病院

(2) 本研修

期間：令和7年5月1日～令和8年3月31日

場所：広島大学病院及び研修協力施設



3. 初期研修(総合研修)：各プログラム共通

(1) 研修概要

- ① 研修目的：広島大学病院及び各診療科(部, 室)における診療システム, 患者への対応(インフォームド・コンセント)あるいは患者の流れなどを習熟し, さらに1年次研修にむけての, 臨床に関する基礎的知識及び技術のレベルアップを図る。
- ② 対象者：研修歯科医
- ③ 期間：令和7年4月1日～令和7年4月30日
- ④ 施設：各診療科(部, 室)
- ⑤ 指導歯科医：各診療科(部, 室)専任指導歯科医及び併任指導歯科医
- ⑥ 研修内容：オリエンテーション
各診療科(部, 室)の見学及び臨床基礎実習と講義
臨床見学・アシスタント実習
各診療室ローテーション

(2) 初期(総合)研修のスケジュール

	午前		午後	
	8:30	12:00	12:45	17:00
初日	オリエンテーション		オリエンテーション	事務手続
2日目	初期研修			
4月初旬～中旬	} コミュニケーショントレーニング	休憩	} コミュニケーショントレーニング	
4月中旬～下旬				

(3) 初期(総合)研修の研修内容

研修方法	内 容
オリエンテーション (講義形式)	・主席副院長訓示 ・事務手続きの説明 ・臨床研修カリキュラムの説明 ・臨床研修の進め方
コミュニケーション トレーニング	・医療面接 ・インフォームドコンセント(説明, 納得, 交渉) ・指導(教育) ・トラブルへの対応 ・物語に基づく医療 Narrative Based Medicine
臨床講義・演習	・口腔総合診療科の TQM & CQI ・診療システムと患者の流れ ・器具器材薬剤の配置 ・安全管理・リスク管理 ・感染対策(ユニバーサル, スタンダードプレコーション) ・滅菌と消毒(滅菌器材の準備と汚染機材の片付け法) ・診療記録の書き方 ・社会保険管理 ・全身管理の基礎
臨床基礎実習	・ユニットの操作法 ・安全な器具, 機器操作 ・ポジショニング

診療各科:

担当診療室	研修方法	内 容
口腔総合診療科	診療見学 (臨床講義)	医科歯科連携の概要とその実際 moodle, DEBUT2 の使い方, ポートフォリオについて
口腔健康科	診療見学 (臨床講義)	診療システムと患者の流れ フィールドワークについて 歯周状態のキャリブレーション
歯科保存診療科	診療見学 (臨床講義)	歯内治療と保存修復の基本的治療方針 隔壁作製法とラバーダム防湿法 根管内細菌培養検査
歯周診療科	診療見学 (臨床講義) 基礎実習	オリエンテーションと歯周治療の流れ 歯周診査法, スケーラーの取り扱い方, 歯周治療の指針(日本歯周病学会発行)説明 カメラの取扱と口腔内写真の撮り方, 介助技術
顎・口腔外科	診療見学 (臨床講義)	外来見学, 小手術見学 清潔と不潔, 手洗い, 投薬
口腔顎顔面再建外科	診療見学 (臨床講義)	外来見学, 小手術見学 清潔と不潔, 手洗い, 投薬
口腔インプラント診療科	診療見学 (臨床講義) 基礎実習	補綴治療に必要な器具・材料の説明 臨床講義(解剖学的基礎知識, 顎口腔機能に関する基礎知識) 概形印象採得トレーニング
咬合・義歯診療科	診療見学 (臨床講義) 基礎実習	オリエンテーション, 外来見学 診療システム, 診療ガイドライン説明(日本補綴歯科学会) 各種処置の見学・介助及び治療
矯正歯科	診療見学 (臨床講義) 基礎実習	見学と診療補助 矯正科オリエンテーション(矯正歯科について, 診療システム) 矯正装置の作製
小児歯科	診療見学 (臨床講義) 基礎実習	診療システムと患者の流れ 小児歯科におけるコミュニケーション技術教育 各種処置の見学・介助及び治療
歯科放射線科	(臨床講義) 基礎実習	放射線科オリエンテーション X線撮影法について(ポータブルX線装置の取扱いも含む) 口内法X線撮影法の相互実習 摂食・嚥下検査について 口腔癌に対する放射線治療及び口腔管理について
歯科麻酔科	(臨床講義) 基礎実習	歯科麻酔科オリエンテーション 医療面接, 各種鎮静法, 静脈麻酔, 全身麻酔, 疼痛治療の見学
障害者歯科	診療見学 (臨床講義) 基礎実習	主な障害・基礎疾患の特徴と程度及び全身的・歯科的配慮 治療計画の立案と定期検診 各種処置の見学・介助及び治療

4. 各科研修内容

口腔総合診療科

研修内容	1. 当院入院患者に対する初診医療面接及び診査・診断 2. 全身疾患を有する患者に対する一口腔単位の治療計画立案と実践 3. 周術期における口腔管理の理解と実践
講義・セミナー	1. カンファレンス, ケーススタディ 2. 医科歯科連携について 3. 口腔ケア関連セミナー

口腔健康科

研修内容	1. 定期健診, 保健指導, 予防処置などの継続管理 2. 幼児及び母親に対する歯科保健指導(全プログラム 1 回参加) 3. 歯周状態のキャリブレーション 4. 訪問歯科診療の見学及び実施 A プログラムのみ(出向先で研修できない者)
セミナー・症例検討	1. 健康教育と患者の動機付け 2. 予防処置について 3. 母子歯科保健 4. 歯科行動科学 5. 症例検討(重度齲蝕, 重度歯周病) 6. プラークコントロール&SRP

歯科保存診療科

研修内容	1. 歯髄疾患や根尖性歯周疾患の治療概念及び治療法 2. う蝕に対する治療概念及び各種治療法
研修ケース	1. 臨床ケース 〈歯内治療〉 抜髄または感染根管治療(研修歯科医が主治医となる症例)2 ケース以上 〈修復治療〉 間接修復及び直接修復(研修歯科医が主治医となる症例)3 ケース以上 2. 講義・セミナー

歯周診療科

研修内容	1. 歯周疾患の診査・診断(免疫学的・細菌学的診断を含む)と治療計画 2. 歯周基本治療技術と介助法の取得 3. 歯周外科手術法(ポケットリダクション法を中心に)の取得 4. 歯周病に対する指導管理の実際 5. 高齢者(65 歳以上)や全身性疾患(糖尿病等)を有する患者の歯周疾患の診査・診断・治療法
セミナー・症例検討	1. 歯周治療指針 2. 歯周外科手術・組織再生誘導法(GTR 法) 3. 侵襲性歯周炎
研修ケース	歯周治療 歯周治療(基本治療) 5 ケース 歯周外科治療 介助 2 ケース

顎・口腔外科

研修内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 普通抜歯(場合により難抜歯や埋伏歯の抜歯) 2. 局所麻酔法及び伝達麻酔法 3. 点滴実習 4. その他 投薬(外用, 注射, 内服等), 手術室実習 ※ 病棟実習, 検査部門
セミナー・症例検討	<ol style="list-style-type: none"> 1. 症例検討会(初診外来患者, 入院患者) 2. 口腔領域での診断, 治療における新たな展開

口腔顎顔面再建外科

研修内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 普通抜歯 2. 局所麻酔法及び伝達麻酔法 3. 点滴実習 4. 心電図など 5. その他 投薬(外用, 注射, 内服等), 手術室実習, ※ 病棟実習, 検査部門
セミナー・症例検討	<ol style="list-style-type: none"> 1. 口腔外科小手術の術式, 注意点 2. 外科的矯正治療の要点

口腔インプラント診療科

研修内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 全部床及び部分床義歯のための診査・診断と前処置及び設計の検討 2. 全部床及び部分床義歯における印象採得法 3. 口腔機能低下症の精密検査と診断及び口腔機能管理の実施 4. 高齢者施設における要支援・要介護高齢者の口腔機能評価
セミナー・症例検討	<ol style="list-style-type: none"> 1. 部分床義歯の設計 2. 顎機能異常の原因と治療 3. インプラントによる欠損補綴
研修ケース	<ol style="list-style-type: none"> 1. 全部床義歯治療を必要とする症例 <ol style="list-style-type: none"> 1) 教員の症例について診査・診断・治療計画を立案 2) 研修歯科医が主治医となる症例 2. 部分床義歯治療を必要とする症例 <ol style="list-style-type: none"> 1) 教員の症例について診査・診断・治療計画を立案 2) 研修歯科医が主治医となる症例

咬合・義歯診療科

研修内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 歯冠補綴治療, 欠損補綴に対する診査・診断 ・医療面接, 視診, 触診, X線診査, 研究用模型診査などを利用した顎・顔面・口腔内の診査・診断を行う。 2. 歯冠補綴治療, 欠損補綴に対する治療計画立案 ・診査で得られた資料を基にして治療計画を立案し, インフォームドコンセントを行う。 3. 歯冠補綴治療, 欠損補綴に対する処置治療 ・必要に応じて診断用及び治療用 ME 機器を使用する。
研修ケース	<ol style="list-style-type: none"> 1. 臨床研修ケース ・見学・アシスタントケース: クラウン, ブリッジ, インプラント, TMJ(顎関節)症例 ・診療ケース(研修歯科医が主治医となる症例): 支台築造, クラウン(単冠) 2. 講義・セミナー

矯正歯科

研修内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 一般的な矯正歯科治療の診査・診断・治療方法を学ぶ。 2. 各種不正咬合に対する矯正治療の概要を理解する。 3. 矯正歯科治療の臨床を体験する。 4. 埋伏歯や口唇口蓋裂など先天疾患の矯正歯科治療, 外科矯正治療といった他科とのチームアプローチを学ぶ。 5. 初診相談を通じ矯正歯科治療の必要性や最適な治療開始期間を学ぶ。
研修ケース	診断セミナー(症例検討会)に出席し知識を深める

小児歯科

研修内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 小児歯科診療における診査・診断 2. 小児歯科診療における治療計画の立案 3. 小児歯科診療における各種処置の実際 4. 小児患者の行動管理 5. 有病児の歯科治療, 口腔ケア 6. 障害児の歯科治療 7. 学校歯科健診 8. 一時保護施設入所児童の歯科検診, 口腔清掃指導
セミナー・症例報告	<ol style="list-style-type: none"> 1. 小児齲蝕・歯周疾患の予防及び治療について 2. 咬合誘導の診査・診断及び治療について 3. 各種症例検討

歯科放射線科

研修内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. X線撮影法 <ul style="list-style-type: none"> ・歯科臨床の診断に必要なX線撮影法の習得(口内法, ポータブルX線装置での撮影法, パノラマX線写真撮影法) ・特殊撮影の見学(マルチスライスCT, コーンビームCT, 超音波検査, 磁気共鳴画像検査) ・デジタルX線撮影の基礎の理解 2. X線診断 <ul style="list-style-type: none"> ・口内法, パノラマX線像を中心とした種々の症例の読影 ・研修歯科医が経験した症例のX線学的考察 ・マルチスライスCT, コーンビームCTの読影 3. 放射線管理 <ul style="list-style-type: none"> ・医療被曝と障害 ・放射線防護 4. 摂食・嚥下 <ul style="list-style-type: none"> ・嚥下造影検査(VF)の読影 ・内視鏡操作手技の習得(希望者のみ) 5. 口腔癌に対する放射線治療とそのfollow up(口腔管理も含む) <ul style="list-style-type: none"> ・放射線治療の見学(外部照射と組織内照射) ・リンパ節転移の精査(USを用いて) ・治療後の口腔ケア
セミナー・症例報告	<ol style="list-style-type: none"> 1. 歯科臨床におけるX線診断の進め方 2. 特殊撮影について

歯科麻酔科

研修内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 外来:医療面接,疼痛治療,全身管理下での歯科治療の見学と介助 2. 手術室:全身麻酔,静脈麻酔の見学と介助 3. 実習:術中のモニタリング,静脈路確保,気道確保,各種鎮静法,各種医療機器・器具の取扱いなど
セミナー・症例報告	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療面接にもとづく患者管理方法の立案 2. 歯科治療時の全身合併症とその対応法について
研修ケース	カンファレンスで,担当症例についてプレゼンテーションする。

障害者歯科

研修内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 主な障害・基礎疾患の特徴と程度及び全身的・歯科的配慮 2. 治療計画の立案と定期検診 3. 各種処置の見学・介助及び治療
セミナー・症例報告	<ol style="list-style-type: none"> 1. 障害者の障害特性・基礎疾患 2. 障害者の歯科的対応 3. 歯科治療時の障害者のマネージメント及び行動変容 4. 障害者の歯科予防対策 5. 症例検討
研修ケース	<ol style="list-style-type: none"> 1. 与えられた症例におけるプロブレムリストの作成 2. プロブレムリストから歯科的対応の検討

口腔検査センター

研修内容	<p>研修歯科医全員に対して,歯科に特有の検査(う蝕活動性検査,咬合力測定など),臨床検査,病理学的検査・診断の実際を見学及び実習させ,歯科臨床医に必要な検査についての知識を習得させる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 検査の説明方法 2. 検査に用いる検体の取り扱い方 3. 検査の手順と実際 4. 検査データの解釈 5. 感染予防 6. 症例検討
その他	口腔総合診療科研修期間内でのローテーションによる口腔検査の見学,補助,実施

※口腔外科病棟研修(知識・技能評価記録により適格と判断された者が対象)

1. 術前における患者の健康状態の把握

	研修水準
1) 術前における医療面接 問診による健康状態の把握, かかりつけ医へのコンサルテーション	C
2) 血液検査 血液一般, 生化学一般, 出血時間, 凝固時間, ABO 式血液型検査	A
3) 心機能検査 血圧測定, 脈拍測定, 心電図検査, 血液ガス分析, 医科へのコンサルテーション	B
4) 呼吸機能検査 呼吸数の測定, スパイロメーター, 医科へのコンサルテーション	B
5) 腎機能検査 CCr, PSP 法, 医科へのコンサルテーション	B

2. 全身麻酔法や局所鎮静麻酔法による術後の患者の健康状態の把握

	研修水準
1) 術後における医療面接 問診による健康状態の把握	C
2) 血液検査 血液一般検査, 生化学一般検査	C
3) 心機能検査 四肢誘導モニターリング, 血圧測定	C
4) 呼吸機能検査 酸素療法, 経皮的動脈酸素モニターリング, 血液ガス分析	C
5) 腎機能検査 術後の尿量, 尿比重, 尿性状測定	B

3. 術後の体調変化における対処法の理解

	研修水準
1) 発熱・嘔吐時における対処法	C
2) 術後の疼痛管理	C
3) 麻酔後のその他の合併症	C
4) 専門医へのコンサルテーション	C

[研修水準]

A : 指導歯科医の指導・監督の下に実施が許容されるもの

B : 状況によって指導歯科医が介助*¹⁾する場合, 実施が許容されるもの

C : 原則として指導歯科医の行為を補助*²⁾または見学にとどめるもの

*1 …Bにいう「介助」とは, 行為自体に対して行為者(研修歯科医)の判断作用が加わる余地がないとは必ずしも言えない状況の下において, 当該行為が実質的に機械的な作業とみなしうる程度まで, 管理・支配を及ぼすことをいい, 常時監視を含む。

*2 …Cにいう「補助」とは, 判断を加える余地に乏しい機械的な作業を行うことをいう。

知識・技能評価記録

研修歯科医氏名： _____

本医療機関で研修する，上記の歯科医師について，知識・技能評価を実施した結果，本医療機関における口腔外科病棟研修に適格であると判断する。

評価項目	能力評価
全身管理に関する知識	I・II・III
全身管理に関する技能	I・II・III
総合評価	I・II・III

- I : 一定水準に達しているが，研修により更なる知識・技能の向上が期待できるレベル
- II : 基本的な知識・技能を有しているが，初歩からの研修が望ましいレベル
- III : 厳格な指導・監督が必要と思われるレベル

評価年月日 : 年 月 日

歯科医師臨床研修プログラム責任者氏名： _____ ⑩

5. 協力型(Ⅰ)臨床研修施設の標準的研修内容

1) 実施するプログラム, 研修期間など

研修期間				
プログラム	内容	期 間	いずれかの時期	
A	かかりつけ歯科研修	5ヶ月	6～10月	11月～3月

2) 到達目標

主として研修する分野(○)

	A かかりつけ歯科	
	協力型(Ⅰ)臨床研修施設	管理型(広島大学病院)
1. 基本的診療能力等		
1-1 基本的診察・検査・診断・診療計画		○
1-2 基本的臨床技能等	○	
1-3 患者管理		○
1-4 患者の状態に応じた歯科医療の提供	○	
2. 歯科医療に関連する連携と制度の理解等	協力型(Ⅰ)	管理型
2-1 歯科専門職間の連携	○	
2-2 多職種連携・地域医療	○	
2-3 地域保健		○
2-4 歯科医療提供に関連する制度の理解		○
3. その他		

協力型(Ⅰ)の施設における研修で主に担当する分野

1. 基本的診療能力等
1-2. 基本的臨床技能等
① 歯科疾患を予防するための口腔衛生指導, 基本的な手技を実践する。
② 一般的な歯科疾患に対応するために必要となる基本的な治療及び管理を実践する。 a. 歯の硬組織疾患 b. 歯髄疾患 c. 歯周病 d. 口腔外科疾患 e. 歯質と歯の欠損 f. 口腔機能の発達不全, 口腔機能の低下
③ 基本的な応急処置を実践する。
④ 歯科診療を安全に行うために必要なバイタルサインを観察し, 全身状態を評価する。
⑤ 診療に関する記録や文書(診療録, 処方せん, 歯科技工指示書等)を作成する。
⑥ 医療事故の予防に関する基本的な対策について理解し, 実践する。
1-4. 患者の状態に応じた歯科医療の提供
① 妊娠期, 乳幼児期, 学齢期, 成人期, 高齢期の患者に対し, 各ライフステージに応じた歯科疾患の基本的な予防管理, 口腔機能管理について理解し, 実践する。
② 各ライフステージ及び全身状態に応じた歯科医療を実践する。
③ 在宅療養患者等に対する訪問歯科診療を経験する。
④ 障害を有する患者への対応を実践する。

2. 歯科医療に関連する連携と制度の理解等
2-1. 歯科専門職の連携
① 歯科衛生士の役割を理解し、予防処置や口腔衛生管理等の際に連携を図る。
② 歯科技工士の役割を理解し、適切に歯科技工指示書を作成するとともに、必要に応じて連携を図る。
③ 多職種によるチーム医療について、その目的、各職種の役割を理解した上で、歯科専門職の役割を理解し、説明する。
2-2. 多職種連携, 地域医療
① 地域包括ケアシステムについて理解し、説明する。
② 地域包括ケアシステムにおける歯科医療の役割を説明する。
③ 訪問歯科診療の実施にあたり、患者に関わる医療・介護関係職種の役割を理解し、連携する。
④ がん患者等の周術期等口腔管理において、その目的及び各専門職の役割を理解した上で、多職種によるチーム医療に参加し、基本的な口腔機能管理を経験する。
⑤ 歯科専門職が関与する多職種チーム(例えば栄養サポートチーム, 摂食嚥下リハビリテーションチーム, 口腔ケアチーム等)について、その目的及び各専門職の役割を理解した上で、チーム医療に参加し、関係者と連携する。
⑥ 入院患者の入退院時における多職種支援について理解し、参加する。

3) 研修方法(LS)

指導体制

指導者	担当者	指導内容
1) 指導歯科医	プログラム責任者 研修実施責任者等	診療, 管理運営の全般についての指導にあたる。
2) 上級歯科医	常勤歯科医師	臨床基礎実習などの基本的事項についての指導にあたる。
3) スタッフ	チーフ歯科衛生士 歯科衛生士	チーム歯科医療における連携, 口腔ケアにおける歯科衛生士との連携の指導にあたる。

研修方法とスケジュール

A: かかりつけ歯科研修プログラム

1. 基本的診療能力等		1月目	2月目	3月目	4月目	5月目
1-1 基本的診察・検査・診断・診療計画		講義 実習 演習 見学 介助 自習				
1-2 基本的臨床技能等	○		見学・介助	実習・介助	臨床・介助	臨床
1-3 患者管理						
1-4 患者の状態に応じた歯科医療の提供	○		演習・自習・症例検討			
2. 歯科医療に関連する連携と制度の理解等		1月目	2月目	3月目	4月目	5月目
2-1 歯科専門職の連携	○	講義 実習 演習 見学 介助 自習	実習・見学・介助	実習・臨床・介助	臨床・介助	臨床
2-2 多職種連携, 地域医療	○		実習・見学・介助	実習・臨床・介助	臨床・介助	臨床
2-3 地域保健						
2-4 歯科医療提供に関連する制度の理解						

4) 評価(プログラム A)

(1) 形成的評価:観察記録, 試問, ポートフォリオ, レポート

	初期 (1ヶ月後)	中間期 (2-3ヶ月後)	修了期 (5ヶ月後)
1. 基本的診療能力等			
1-1 基本的診察・検査・診断・診療計画	試問 レポート ポートフォリオ	観察記録 試問 レポート ポートフォリオ	観察記録 試問 レポート ポートフォリオ
1-2 基本的臨床技能等			
1-3 患者管理			
1-4 患者の状態に応じた歯科医療の提供			
2. 歯科医療に関連する連携と制度の理解等	初期 (1ヶ月後)	中間期 (2-3ヶ月後)	修了期 (5ヶ月後)
2-1 歯科専門職の連携	試問 レポート ポートフォリオ	観察記録 試問 レポート ポートフォリオ	観察記録 試問 レポート ポートフォリオ
2-2 多職種連携, 地域医療			
2-3 地域保健			
2-4 歯科医療提供に関連する制度の理解			

(2) 総括的評価:

広島大学病院歯科医師臨床研修プログラムに従って、広島大学病院歯科領域卒後臨床研修管理委員会において研修修了の判定を行う。

評価法:

1. 広島大学病院歯科医師臨床研修到達度評価(オンライン歯科臨床研修評価システム 2 (DEBUT2))
2. 観察記録
3. プレゼンテーション(症例発表)
4. ポートフォリオ:自己評価記録

5) 処遇など(大学病院(管理型施設)の処遇規定を参照すること。)

(1) 在籍型出向研修の場合の処遇など

- ・身分, 給与, 健康保険, 厚生年金, 雇用保険, 労災保険及び宿舎については, いずれも管理型施設(広島大学病院)に準ずる。
- ・学会, 研究会等への参加:可, 費用支給なし

(2) 離籍・再就職型出向研修の場合の処遇など

各施設の就業規則等による。

6. 協力型(Ⅱ)臨床研修施設の標準的研修内容

1) 実施するプログラム, 研修期間など

研修期間			
プログラム	内容	期 間	時 期
A	かかりつけ歯科研修	5日	広島大学病院での研修期間中

2) 到達目標

主として研修する分野(○)

	A かかりつけ歯科	
	協力型(Ⅱ)臨床研修施設	管理型(広島大学病院)
1. 基本的診療能力等		
1-1 基本的診察・検査・診断・診療計画		○
1-2 基本的臨床技能等	○	
1-3 患者管理		○
1-4 患者の状態に応じた歯科医療の提供	○	
2. 歯科医療に関連する連携と制度の理解等	協力型(Ⅱ)	管理型
2-1 歯科専門職間の連携	○	
2-2 多職種連携・地域医療	○	
2-3 地域保健		○
2-4 歯科医療提供に関連する制度の理解		○
3. その他		

協力型(Ⅱ)の施設における研修で主に担当する分野

1. 基本的診療能力等
1-2. 基本的臨床技能等
① 歯科疾患を予防するための口腔衛生指導, 基本的な手技を実践する。
② 一般的な歯科疾患に対応するために必要となる基本的な治療及び管理を実践する。 a. 歯の硬組織疾患 b. 歯髄疾患 c. 歯周病 d. 口腔外科疾患 e. 歯質と歯の欠損 f. 口腔機能の発達不全, 口腔機能の低下
③ 基本的な応急処置を実践する。
④ 歯科診療を安全に行うために必要なバイタルサインを観察し, 全身状態を評価する。
⑤ 診療に関する記録や文書(診療録, 処方せん, 歯科技工指示書等)を作成する。
⑥ 医療事故の予防に関する基本的な対策について理解し, 実践する。
1-4. 患者の状態に応じた歯科医療の提供
① 妊娠期, 乳幼児期, 学齢期, 成人期, 高齢期の患者に対し, 各ライフステージに応じた歯科疾患の基本的な予防管理, 口腔機能管理について理解し, 実践する。
② 各ライフステージ及び全身状態に応じた歯科医療を実践する。
③ 在宅療養患者等に対する訪問歯科診療を経験する。
④ 障害を有する患者への対応を実践する。

2. 歯科医療に関連する連携と制度の理解等
2-1. 歯科専門職の連携
① 歯科衛生士の役割を理解し、予防処置や口腔衛生管理等の際に連携を図る。
② 歯科技工士の役割を理解し、適切に歯科技工指示書を作成するとともに、必要に応じて連携を図る。
③ 多職種によるチーム医療について、その目的、各職種の役割を理解した上で、歯科専門職の役割を理解し、説明する。
2-2. 多職種連携,地域医療
① 地域包括ケアシステムについて理解し、説明する。
② 地域包括ケアシステムにおける歯科医療の役割を説明する。
③ 訪問歯科診療の実施にあたり、患者に関わる医療・介護関係職種の役割を理解し、連携する。
④ がん患者等の周術期等口腔管理において、その目的及び各専門職の役割を理解した上で、多職種によるチーム医療に参加し、基本的な口腔機能管理を経験する。
⑤ 歯科専門職が関与する多職種チーム(例えば栄養サポートチーム、摂食嚥下リハビリテーションチーム、口腔ケアチーム等)について、その目的及び各専門職の役割を理解した上で、チーム医療に参加し、関係者と連携する。
⑥ 入院患者の入退院時における多職種支援について理解し、参加する。

3)研修方法(LS)

指導体制

指導者	担当者	指導内容
1) 指導歯科医	プログラム責任者 研修実施責任者等	診療, 管理運営の全般についての指導にあたる。
2) 上級歯科医	常勤歯科医師	臨床基礎実習などの基本的事項についての指導にあたる。
3) スタッフ	チーフ歯科衛生士 歯科衛生士	チーム歯科医療における連携, 口腔ケアにおける歯科衛生士との連携の指導にあたる。

7. 研修協力施設(福祉施設, 行政施設, 学校, 公益法人, NPO 法人など)研修内容

(1) 研修内容

医療のもとの平等という概念とともに, 地域社会の歯科医師としての能力を涵養するために, 地域社会における口腔の健康・疾病の予防及び処置後のリハビリテーションを支える営利, 非営利の活動や事業についての基本的な知識, 技能及び態度を習得する。

- 1) 地域の口腔保健・予防, リハビリテーション活動について事業の必要性やその基礎を身につける。
- 2) 医療の質の保証と継続的向上についての理念・概念を身につける。
- 3) 健康・医療に関わる他業種の医療関係者との連携をする能力を身につける。
- 4) 社会人としての人格を涵養する。
- 5) 歯科医師としての社会貢献のあり方を理解する。
- 6) 医療コミュニケーションを身につける。

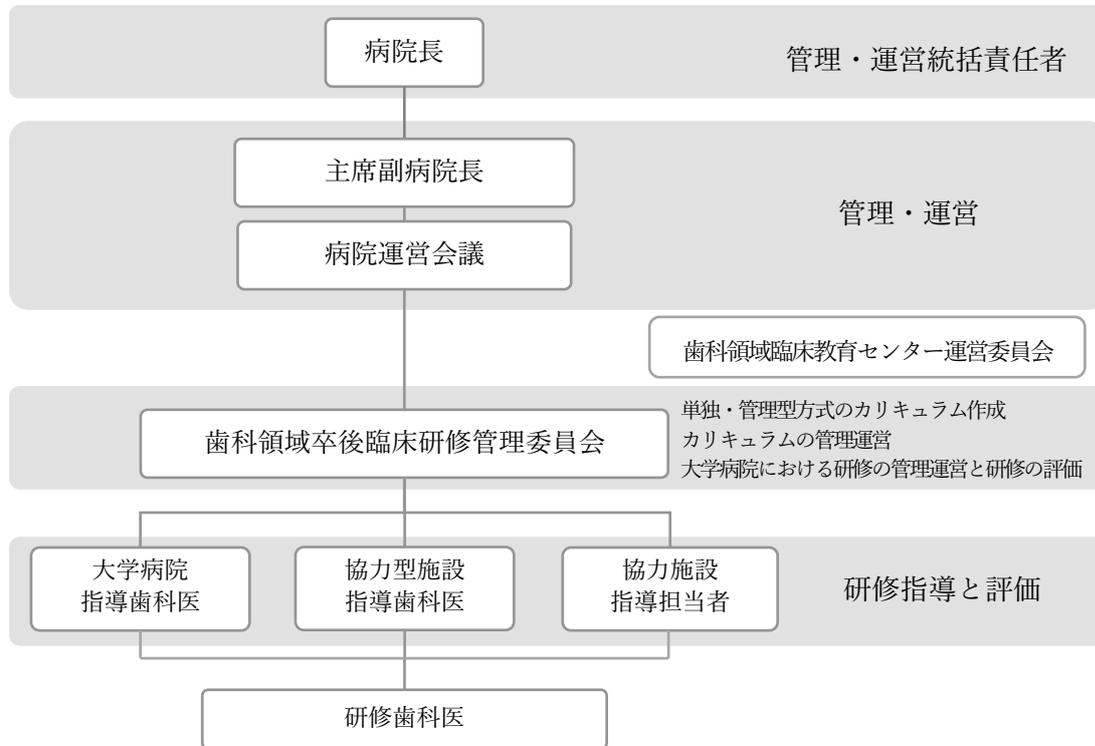
名 称	研修協力施設 (福祉施設, 保健所, 学校, 公益法人など)
研修内容	<ul style="list-style-type: none"> ・予防歯科・口腔ケア(高齢者, 要介護者, 終末期) ・介護予防 ・歯科保健活動 健診(妊産婦, 1.5 歳, 3 歳, 学校健診, 成人健診) 歯科疾患予防活動 ・社会福祉活動 ボランティア活動 ・歯科医師会活動 8020, 5525 事業など ・公衆衛生, 生涯研修活動 ・接遇, コミュニケーション ・医療保険

(2) 研修協力施設の研修実施責任者及び研修歯科医の指導を行う者の氏名及び研修内容

研修施設		研修実施責任者 及び指導を行う者	内容
1 公益法人 など	一般社団法人 広島県歯科医師会(広島市)	山崎 健次(会長)	・歯科医師会活動 8020, 5525 事業など ・公衆衛生, 生涯研修活動
	一般社団法人 広島市歯科医師会(広島市) 一般社団法人 福山市歯科医師会(福山市)	瓜生 賢(会長) 平田 史朗(会長)	・訪問歯科医療 ・予防歯科・口腔ケア ・介護予防
	広島大学歯学部同窓会(広島市)	石通 宏行(会長)	・卒業生涯研修 ・キャリアデザイン
2 保健所 ・ 福祉施設	東広島市こども家庭課(東広島市)	植木 菜穂子(課長)	・1歳6か月健診における親子歯 科健診 ・予防歯科・口腔ケア ・介護予防
3 学校	学校法人石田学園 広島経済大学(広島市) 広島大学附属小学校(広島市) 広島大学附属中学校(広島市) 広島大学附属高等学校(広島市) 広島大学附属東雲小学校(広島市) 広島大学附属東雲中学校(広島市)	得津 康義(学務センター長) 永田 良太(校長) 石田 弓(校長) 石田 弓(校長) 松浦 武人(校長) 松浦 武人(校長)	・歯科保健活動 健診(児童, 生徒, 成人) 歯科疾患予防活動
4 非営利 団体 など	岡山 SP 研究会(岡山県岡山市) 広島 SP 研究会(広島市)	井上 俊之(理事長) 竹本 ひとみ(代表)	・接遇, コミュニケーション ・医療倫理

【V】研修の管理・運営組織

1. 管理・運営組織図



2. 歯科領域卒後臨床研修管理委員会

(1) 役割

- ・単独・管理型方式のカリキュラムの作成・管理運営
- ・自己点検評価
- ・研修歯科医教育システムの管理・運営
- ・研修指導
- ・研修成績の評価・判定

(2) 委員構成

- 副病院長(教育・研修担当)
- 歯科領域臨床教育センター長
- プログラム責任者及び副プログラム責任者
- 大学病院(管理型施設)専任指導歯科医
- 大学病院(管理型施設)指導歯科技工士, 指導歯科衛生士
- 協力型(Ⅰ)(Ⅱ)臨床研修施設の研修実施責任者
- 研修協力施設の研修実施責任者
- 有識者(外部委員)
- 運営支援部長

(3) 委員長: 河口 浩之 (副病院長(教育・研修担当))

委員: 次頁に記載

所 属	職 名	氏 名	
広島大学病院口腔総合診療科	副病院長(教育・研修) 教授 歯科領域臨床教育センター長	河口 浩之	*委員長
医療法人社団東広会 まこと歯科医院	理事長	中西 一	
竹中歯科医院	院長	柴田 眞吾	
おおつぼ歯科クリニック	理事長	大坪 宏	
医院 歯の健康ドクター	院長	藤中 千恵美	
医療法人社団 柄歯科医院	院長	柄 慎太郎	
医療法人社団健口会 長畑歯科医院	院長	長畑 光	*副委員長
すずき歯科医院	理事長	鈴木 龍	
公立みつぎ総合病院	診療部長	占部 秀徳	
うえはら歯科医院	理事長	上原 亮	
マツダ株式会社 マツダ病院	歯科口腔外科 主任部長	坂本 哲彦	
生協歯科ひろしま	所長	高橋 秀爾	
医療法人社団 おおぞら会 おかもと歯科医院	理事長	岡本 直治	
アイリス歯科	理事長	橋本 和人	
コープ共立歯科	所長	重平 哲哉	
国家公務員共済組合連合会 呉共済病院	歯科口腔外科部長	東森 秀年	
つだ歯科	理事長	津田 賢治	
しまだ歯科医院	院長	島田 昌明	
独立行政法人労働者健康安全機構 中国労災病院	歯科口腔外科部長	小林 雅史	
松本歯科医院	院長	松本 健司	
土井ファミリー歯科医院	理事長	土井 伸浩	
こやま歯科医院	院長	小山 茂幸	
地方独立行政法人広島市立病院機構 広島市立北部医療センター安佐市民病院	歯科・口腔外科主任部長	岡本 康正	
永井歯科・矯正歯科	理事長	永井 康照	
医療法人 社団 湧泉会 ひまわり歯科	理事長	岡本 佳明	
きよはら歯科クリニック	院長	清原 真太郎	
医療法人社団徳誠会 イオンモール姫路大津歯科・矯正歯科	院長	岡村 知彦	
トーマス歯科クリニック	院長	内田 雄士	
医療法人 あした会 中西歯科医院・こども矯正歯科	副院長	中西 茂	
カナザキ歯科	理事長	金崎 伸幸	
医療法人社団 本山歯科医院	理事長	本山 智得	
医療法人 藤浪歯科	理事長	藤浪 陽三	
おくだ歯科・矯正歯科	理事長	奥田 幸祐	
医療法人 松友歯科クリニック	理事長	松友 豊伸	
フェローデンタルクリニック	理事	玉本 光弘	
一般社団法人広島県歯科医師会 広島口腔保健センター	センター長	宮内 美和	
大原駅前歯科	理事長	湯淺 賢一	
医療法人 幸美会 なかむら歯科クリニック	理事長	中村 幸生	
医療法人 小西歯科医院 小西歯科小児歯科医院	理事長	小西 昭弘	
医療法人おひさま 香坂歯科医院	理事長	香坂 陽介	
医療法人つばい歯科クリニック おとなこども矯正歯科	理事長	坪井 文	
ゆたに歯科クリニック	理事長	油谷 征彦	
千里山田兄弟歯科	院長	三谷 宜生	

ホワイト歯科往診クリニック	理事長	竹田 茂
ミモザ歯科	理事長	古本 博嗣
医療法人社団 敬崇会 猪原[食べる]総合歯科医療クリニック	副院長	猪原 健
ツノダ歯科三篠横川クリニック	院長	角田 達彦
すずき歯科小児歯科矯正歯科	院長	鈴木 淳司
医療法人たんぼぼ会 おおとり歯科	理事長	大嶋 俊一
一般社団法人 広島県歯科医師会	会長	山崎 健次
広島大学歯学部同窓会	会長	石通 宏行
学校法人石田学園 広島経済大学	学務センター長	得津 康義
岡山 SP 研究会	理事長	井上 俊之
一般社団法人 広島市歯科医師会	会長	瓜生 賢
広島 SP 研究会	代表	竹本 ひとみ
広島大学附属小学校	校長	永田 良太
広島大学附属高等学校 / 広島大学附属中学校	校長	石田 弓
広島大学附属東雲中学校 / 広島大学附属東雲小学校	校長	松浦 武人
一般社団法人 福山市歯科医師会	会長	平田 史朗
東広島市こども家庭課	課長	植木 菜穂子
鹿児島大学医歯学域歯学系医歯学総合研究科	教授	田口 則宏
広島大学病院 口腔総合診療科	診療講師	西 裕美
広島大学病院 口腔顎顔面再建外科	診療講師	小野 重弘
広島大学病院 歯科放射線科	助教	長崎 信一
広島大学病院 口腔健康科	教授	太田 耕司
広島大学病院 口腔健康科	教授	二川 浩樹
広島大学病院 歯科保存診療科	助教	中西 惇
広島大学病院 歯周診療科	教授	水野 智仁
広島大学病院 歯周診療科	助教	松田 真司
広島大学病院 顎・口腔外科	助教	伊藤 奈七子
広島大学病院 口腔顎顔面再建外科	教授	相川 友直
広島大学病院 口腔インプラント診療科	准教授	吉川 峰加
広島大学病院 咬合・義歯診療科	助教	森田 晃司
広島大学病院 矯正歯科	教授	谷本 幸太郎
広島大学病院 矯正歯科	准教授	國松 亮
広島大学病院 矯正歯科	診療准教授	廣瀬 尚人
広島大学病院 小児歯科	助教	岩本 優子
広島大学病院 歯科麻酔科	講師	吉田 充広
広島大学病院 障害者歯科	教授	岡田 芳幸
広島大学病院 口腔検査センター	教授	加治屋 幹人
広島大学病院 口腔検査センター	講師	新谷 智章
広島大学病院 歯科放射線科	教授	柿本 直也
広島大学病院 診療支援部 歯科部門	部門長	中岡 美由紀
広島大学病院 診療支援部 歯科部門	副部門長	岩畔 将吾
広島大学病院 運営支援部	部長 副病院長(管理運営)	寺田 美樹

*副委員長

3. 歯科領域臨床教育センター

(1) 役割

- ・歯科医師の臨床研修・専門研修
- ・学外の教育機関からの臨床教育(受託臨床実習)
- ・歯科医療従事者に対する臨床研修及び生涯学習の提供
- ・歯学部学生の臨床実習の支援
- ・病院教職員のFD, SD

(2) 委員構成

- ・委員長: 歯科領域臨床教育センター長
- ・委員: 副病院長又は病院長補佐のうちから1人
 歯科領域臨床教育センター長
 歯科領域臨床教育センター副センター長
 口腔健康発育歯科に属する診療科の診療科長のうちから1人
 口腔維持修復歯科に属する診療科の診療科長のうちから1人
 口腔再建外科に属する診療科の診療科長のうちから1人
 診療支援部歯科部門の歯科技工士及び歯科衛生士のうちから各1人
 歯学科臨床実習ライター会議, 口腔工学臨床実習ライター会議及び口腔保健学臨床実習ライター会議が, それぞれの委員のうちから推薦する者1人
 その他センター長が必要と認めた者

(3) 委員長: 河口 浩之 (歯科領域臨床教育センター長)

副委員長: 岡田 芳幸 (歯科領域臨床教育センター副センター長)

委員: 下記に記載

所 属	職 名	氏 名
副病院長(教育・研修担当) 歯系総合診療科 口腔総合診療科	教授	河口 浩之
口腔健康発育歯科	教授	岡田 芳幸
口腔健康発育歯科	教授	谷本 幸太郎
口腔維持修復歯科	教授	津賀 一弘
口腔再建外科	教授	柿本 直也
歯科部門	主任歯科技工士	高山 幸宏
歯科部門	歯科衛生士	臺信 花菜
口腔生物工学 (口腔工学臨床実習ライター会議)	教授	二川 浩樹
口腔保健疫学 (口腔保健学臨床実習ライター会議)	教授	内藤 真理子
口腔生物工学	准教授	田地 豪
歯科部門	歯科衛生士	岡田 美穂

4. 広島大学病院の指導歯科医と指導体制

1) 指導歯科医資格の基準

原則として以下の(1), (2)及び(4)の条件に該当し, かつ(3), (5)のいずれかの条件を満たしていること。

- (1) 一般歯科医療についての的確に指導し, 適正に評価が行えること。
- (2) 臨床経験年数が原則 5 年以上あること。
- (3) 歯科医育機関での臨床教員歴を 3 年以上有すること。
- (4) 指導歯科医講習会(財団法人歯科医療研修振興財団主催または歯科医師の臨床研修に係る指導歯科医講習会の開催指針ののっとり開催されたもの)を受講していること。
- (5) 日本歯科医学会・専門分科会の認定医・専門医であること。

2) 指導歯科医(教員):単独型臨床研修施設・管理型臨床研修施設

(1) 専任指導歯科医

専門歯科医療及び総合歯科医療に関する知識, 技能, 態度, 情報収集及び総合判断の指導にあたる。

(2) 併任指導歯科医

主として専門歯科医療に関する知識, 技能, 態度, 情報収集及び総合判断の指導にあたる。

3) 指導歯科医等

診療科(部, 室)	専任指導歯科医等氏名	併任指導歯科医等氏名			
口腔健康科	太田 耕司	内藤 真理子	竹本 俊伸	田地 豪	加来 真人
	二川 浩樹	重石 英生			
歯科保存診療科	中西 惇	柴 秀樹	武田 克浩	西藤 法子	吉田 和真
		熊谷 友樹			
歯周診療科	水野 智仁 松田 真司	岩田 倫幸	應原 一久	谷口 友梨	
顎・口腔外科	伊藤 奈七子	柳本 愨市	小泉 浩一	山崎 佐知子	大林 史誠
		森下 廣太	田口 有紀	廣田 傑	岡本 健人
口腔顎顔面再建外科	相川 友直 小野 重弘	二宮 嘉昭	水田 邦子	中川 貴之	鳴瀬 貴子
		植月 亮	佐久間 美雪	四道 玲奈	
口腔インプラント診療科	吉川 峰加	津賀 一弘	久保 隆靖	阿部 泰彦	大上 博史
		沖 佳史	竹内 真帆	中守 貴一	
咬合・義歯診療科	森田 晃司	津賀 一弘	土井 一矢	保田 啓介	小島 玲子
矯正歯科	谷本 幸太郎 國松 亮 廣瀬 尚人	矢野下 真	角 伊三武		
小児歯科	岩本 優子	野村 良太	秋友 達哉	浅尾 友里愛	
口腔総合診療科	西 裕美	河口 浩之	堀越 励		

診療科(部, 室)	専任指導歯科医等氏名	併任指導歯科医等氏名			
歯科放射線科	長崎 信一	柿本 直也	末井 良和	中元 崇	小西 勝
		大塚 昌彦	島袋 紀一		
歯科麻酔科	吉田 充広	花本 博	土井 充	清水 慶隆	大植 香菜
		小田 綾	今村 芹佳		
障害者歯科	岡田 芳幸	吉田 結梨子			
口腔検査センター	加治屋 幹人 新谷 智章	安藤 俊範			
薬剤部		松尾 裕彰			
歯科技工室	岩畔 将吾	高山 幸宏			
歯科衛生室	中岡 美由紀	和木田 敦子			

5. 広島大学病院(歯科領域)指導歯科衛生士, 指導歯科技工士, 指導事務職員

1) 指導歯科衛生士資格の基準

原則として以下の(1)及び(2)の条件に該当し, かつ(3), (4)のいずれかの条件を満たしていること。

- (1) 一般歯科医療の歯科衛生業務についての的確に指導し, 適正に評価が行えること。
- (2) 臨床経験年数が原則 5 年以上あること。
- (3) 歯科医育機関での臨床指導歴を 3 年以上有すること。
- (4) 指導歯科医講習会(財団法人歯科医療研修振興財団主催または歯科医師の臨床研修に係る指導歯科医講習会の開催指針にのっとり開催されたもの)を受講していること。

2) 指導歯科技工士資格の基準

原則として以下の(1)及び(2)の条件に該当し, かつ(3), (4)のいずれかの条件を満たしていること。

- (1) 一般歯科医療の歯科技工業務についての的確に指導し, 適正に評価が行えること。
- (2) 臨床経験年数が原則 5 年以上あること。
- (3) 歯科医育機関での臨床指導歴を 3 年以上有すること。
- (4) 指導歯科医講習会(財団法人歯科医療研修振興財団主催または歯科医師の臨床研修に係る指導歯科医講習会の開催指針にのっとり開催されたもの)を受講していること。

3) 指導事務職員資格の基準

原則として以下の(1)及び(2)の条件に該当し, かつ(3), (4)のいずれかの条件を満たしていること。

- (1) 一般歯科医療の事務業務についての的確に指導し, 適正に評価が行えること。
- (2) 一般歯科医療の事務経験年数が原則 3 年以上あること。
- (3) 歯科医育機関での指導歴を 3 年以上有すること。
- (4) 指導歯科医講習会(財団法人歯科医療研修振興財団主催または歯科医師の臨床研修に係る指導歯科医講習会の開催指針にのっとり開催されたもの)を受講していること。

4) 指導歯科衛生士, 指導歯科技工士, 指導事務職員の指導内容

	指導対象	指導内容
指導歯科衛生士	研修歯科医	一般歯科・総合歯科における歯科衛生業務 (口腔保健・衛生指導, 介助, 処置, チーム歯科医療)
指導歯科技工士	研修歯科医	一般歯科・総合歯科における歯科技工業務 (歯科技工, 技工指示書, チーム歯科医療)
指導事務職員	研修歯科医	一般歯科・総合歯科における事務業務 (患者管理, 保険レセプト, 医事会計, 経理, 経営)

6. 指導体制

(1) 研修科目(13 科目)

プライマリケアを中心とする総合歯科医療の研修

口腔総合診療科, 口腔健康科, 歯科保存診療科, 歯周診療科, 顎・口腔外科, 口腔顎顔面再建外科,
口腔インプラント診療科, 咬合・義歯診療科, 矯正歯科, 小児歯科, 障害者歯科, 歯科放射線科,
歯科麻酔科

(2) 指導歯科医及びスタッフ

① 指導歯科医(教員)

口腔総合診療科, 口腔健康科, 歯科保存診療科, 歯周診療科, 顎・口腔外科, 口腔顎顔面再建外科,
口腔インプラント診療科, 咬合・義歯診療科, 矯正歯科, 小児歯科, 障害者歯科, 歯科放射線科,
歯科麻酔科

② デンタルスタッフ

・歯科部門長 : 1 名

③ 役割

- ・専任指導歯科医 : 包括的一般歯科治療に関する知識と技術の指導
- ・併任指導歯科医 : 各所属専門科の高度の知識と技術に関する指導
診療, 卒後臨床教育及び研修の指導

・デンタルスタッフ

歯科部門長:診療室の運営及び患者介助業務の指導への協力

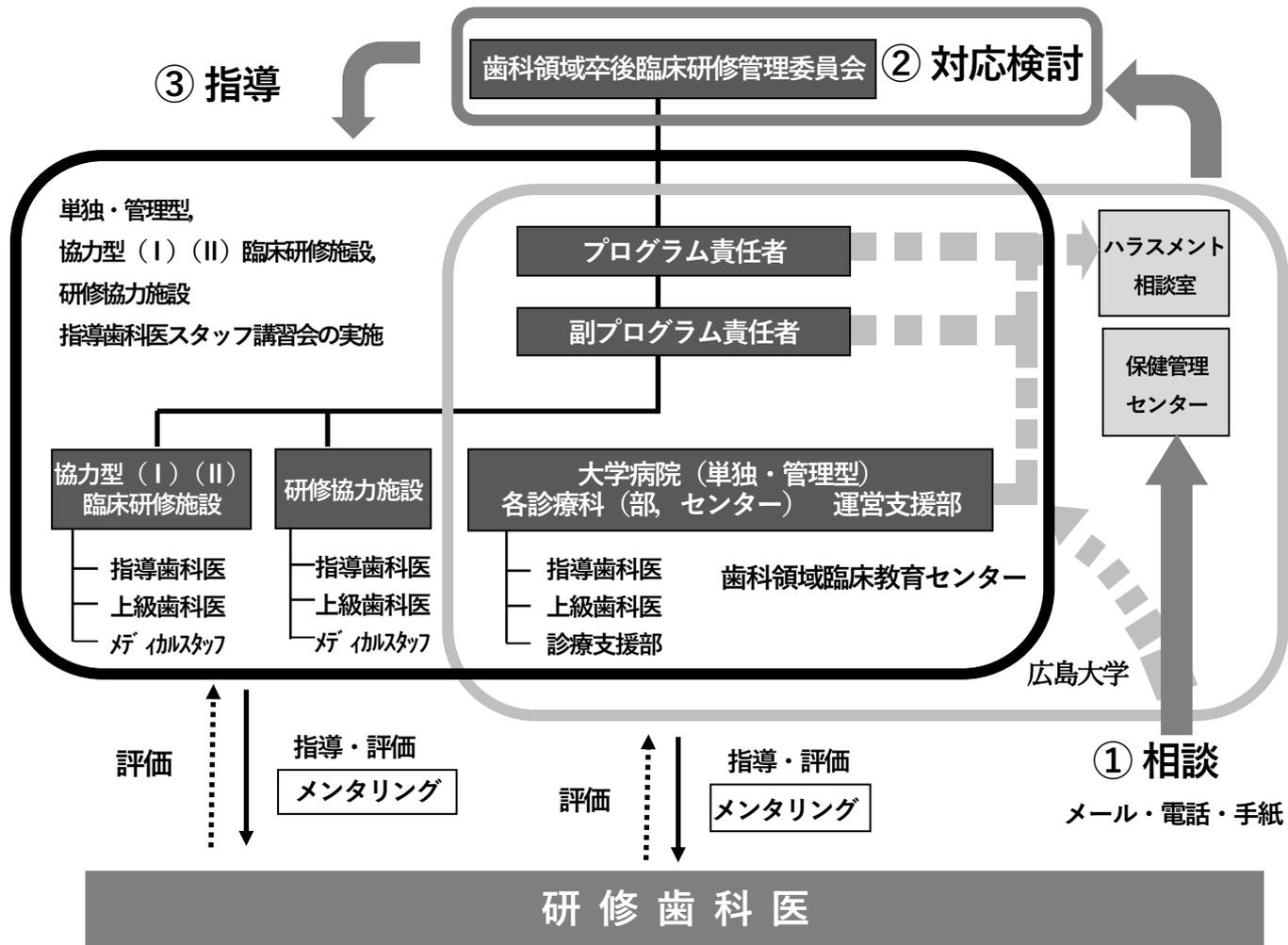
(3) 指導歯科衛生士, 指導歯科技工士

- ・指導歯科衛生士 : 一般歯科における口腔衛生業務についての研修を指導
- ・指導歯科技工士 : 一般歯科における技工業務についての研修を指導

(4) 臨床実習との並立

学部学生に対する臨床実習教育と研修歯科医教育が並立して行われ, 学生約 60 名, 研修歯科医約 50 名のほか教員及びスタッフが 20 名前後, 常駐している。

広島大学病院歯科医師臨床研修におけるストレス（健康）管理・ハラスメントに対する対応



【ハラスメント相談室】(要予約)
 場所: 共用棟1(3階)
 予約電話: 082-257-1519
 (内線: 6563)
 受付日時: 月～金曜日 13:00～19:00

【保健管理センター】
 メンタルヘルス相談(要予約)

場所: 臨床管理棟1階
 予約電話: 082-257-5096(ダイヤルイン)
 メール: mental@hiroshima-u.ac.jp
 受付日時: 月～金曜日 9:15～18:00

霞地区ハラスメント相談室
(共用棟1 3階)

保健管理センター
(臨床管理棟1階)

【VI】研修歯科医の評価・修了認定

1. 評価・修了認定の概要

1) 単独・管理型研修方式の評価

(1) 時期 令和8年3月末日

(2) 評価

・単独型・管理型臨床研修施設：口腔総合診療科及びローテート各科(部, 室)指導歯科医による評価

・協力型(I)(II)臨床研修施設：指導歯科医による評価

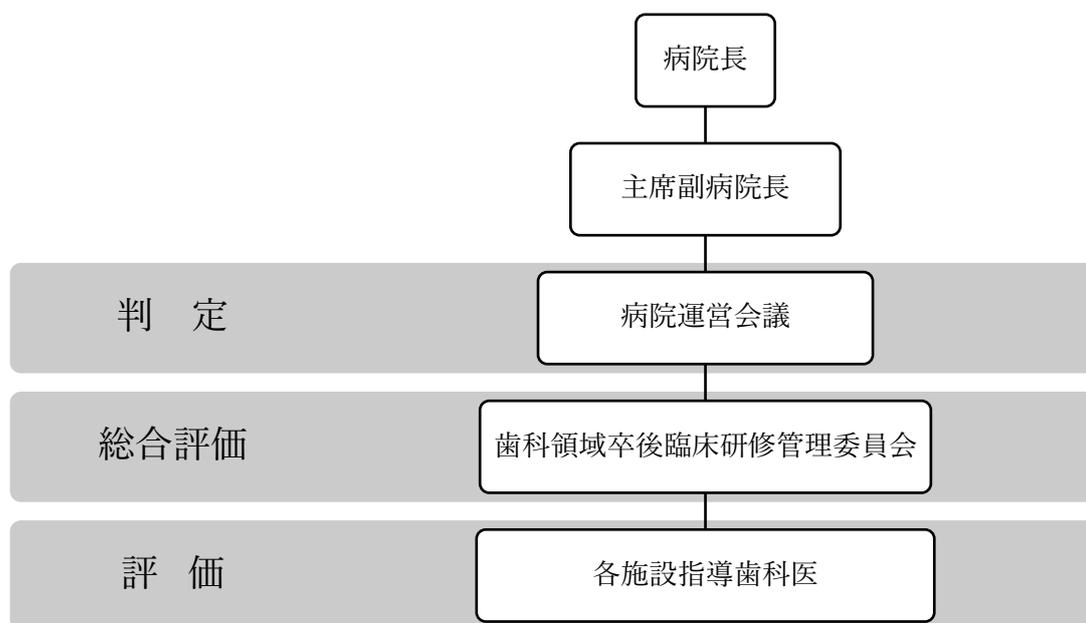
(3) 判定

単独型研修及び管理型研修における評価結果を歯科領域卒後臨床研修管理委員会にて総合評価し、病院運営会議の議を経て、病院長が修了認定の可否を判定する。

(4) 付則

判定結果を公表し、臨床研修修了後の専門研修の採用において研修成績を考慮することを周知させる。

2) 判定組織の概略



3) 臨床研修到達度の評価法

- (1) 広島大学病院歯科医師臨床研修到達度評価(オンライン歯科臨床研修評価システム 2(DEBUT2))
4段階評価(A:極めて十分達成できた、B:十分達成できた、C:一応達成できた、D:達成できなかった)
- (2) 観察記録
- (3) プレゼンテーション(症例発表)
- (4) ポートフォリオ:自己評価記録

4) 研修到達度評価の判定法

修了認定を満たす条件:

- (1) 前述する 3) の全ての評価法により, 本院臨床研修プログラムの必須到達目標 36 項目 (p.11,12 参照) の全てを達成したことが認められ, 基本的臨床能力(知識, 態度, 技能, 情報収集, 総合判断)並びに総合マネジメント力(知識, 技能, 態度, 情報収集, 総合判断)について「達成できた」と総合的に評価されること。
- (2) 臨床研修の期間を通じてプロフェッショナリズムを涵養し, 専門職としての歯科医師の適性ありと評価されること。

5) 臨床研修プログラムの評価

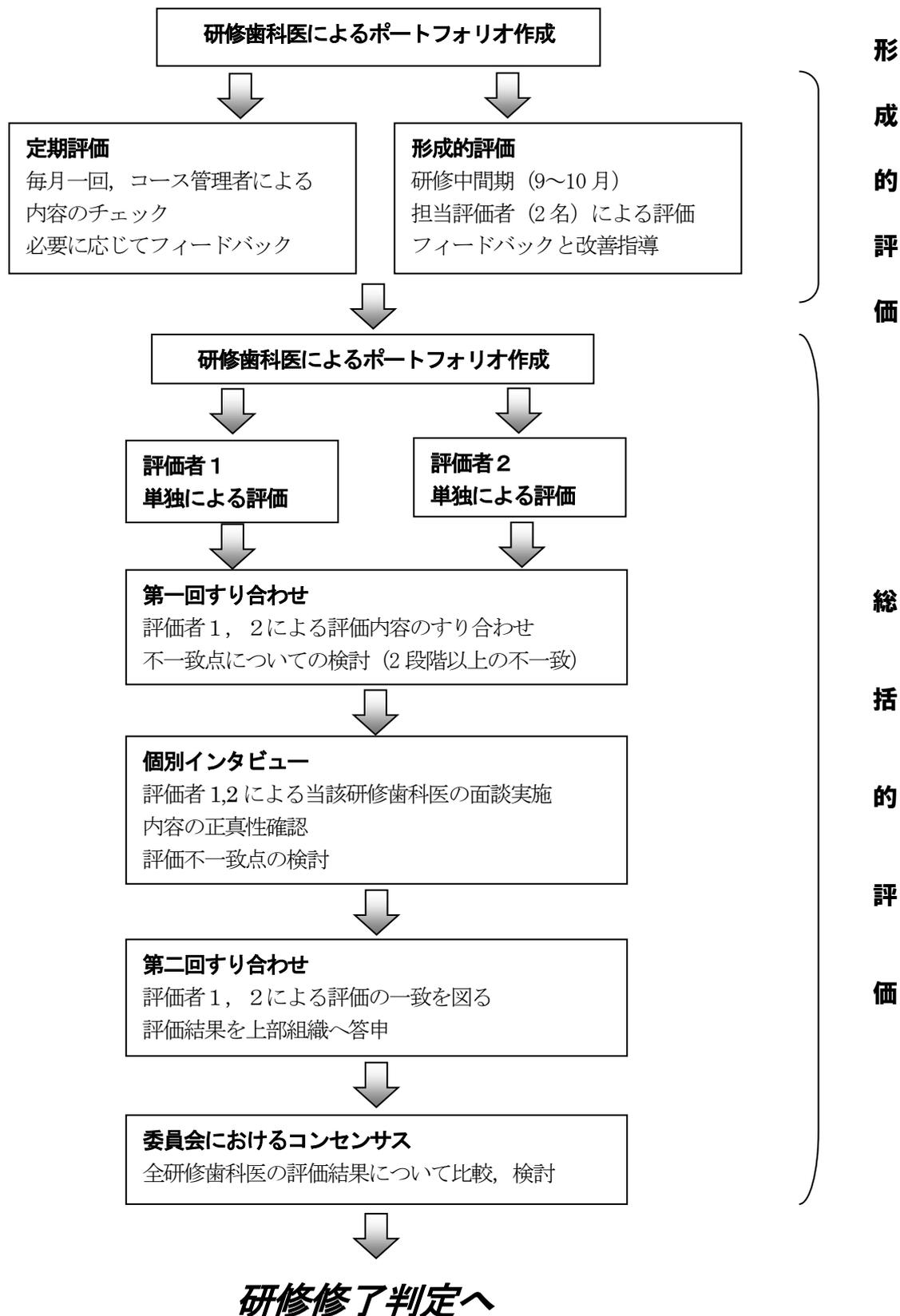
(1) 指導歯科医の評価

- ① 研修歯科医による評価
 - ・広島大学病院臨床研修指導歯科医評価(質問紙調査)
- ② 教員(単独型・管理型臨床研修施設)評価
 - ・広島大学教員評価

(2) カリキュラムの評価

- ① 自己点検評価
- ② 研修歯科医による評価
 - ・広島大学病院臨床研修評価(質問紙調査)
 - ・PHEEM (Postgraduate Hospital Education Environment Measure: Roff et al 2005, 質問紙調査)
- ③ 第三者評価
 - ・国立大学歯学部附属病院医療事故防止相互チェック
 - ・病院機能評価

ポートフォリオ評価の流れ



令和7年度 広島大学病院歯科医師臨床研修の到達目標

広島大学病院歯科医師臨床研修の目標は、患者中心の全人的医療及び包括的歯科医療を理解し、全ての歯科医師に求められる基本的な臨床能力(態度, 技能及び知識)を身に付け、歯科医師としてのキャリアデザイン並びに歯科医療についての質の保証及び継続的向上を図るために、卒後及び生涯を通じて研修を行うことにある。

一般目標(GIO)

1. 法に基づく歯科医師臨床研修(1年)

患者中心の全人的医療並びに包括的歯科医療を理解し、歯科医師のプロフェッショナリズムを涵養するために、キャリアデザイン(生涯研修)の第一歩として、全ての歯科医師に求められる基本的な臨床能力(態度, 技能及び知識)を習得する。

2. 専門研修 レジデントコース(4年～6年)

1) アカデミックレジデントコース(1年次～4年次)

対象:大学院博士課程に進学し、専門医(認定医)資格の取得を目指すもの。

GIO:法に基づく歯科医師臨床研修修了後、将来の患者中心の全人的医療、包括的歯科医療、専門歯科医療の専門歯科医となるために、患者中心の全人的医療、包括的歯科医療、専門歯科医療の基本的能力(態度, 技能及び知識)を習得する。

2) シニアレジデントコース(5年次)

対象:アカデミックレジデントコース修了者など。

GIO:アカデミックレジデントコース修了後、患者中心の専門歯科医療の実践と、それらの専門歯科医・指導歯科医(臨床インストラクター)となるために、1. 包括的総合歯科医療並びに専門歯科医療、2. 臨床教育技法、についての臨床能力と教育能力(態度, 技能及び知識)を習得する。

3) チーフレジデントコース(6年次)

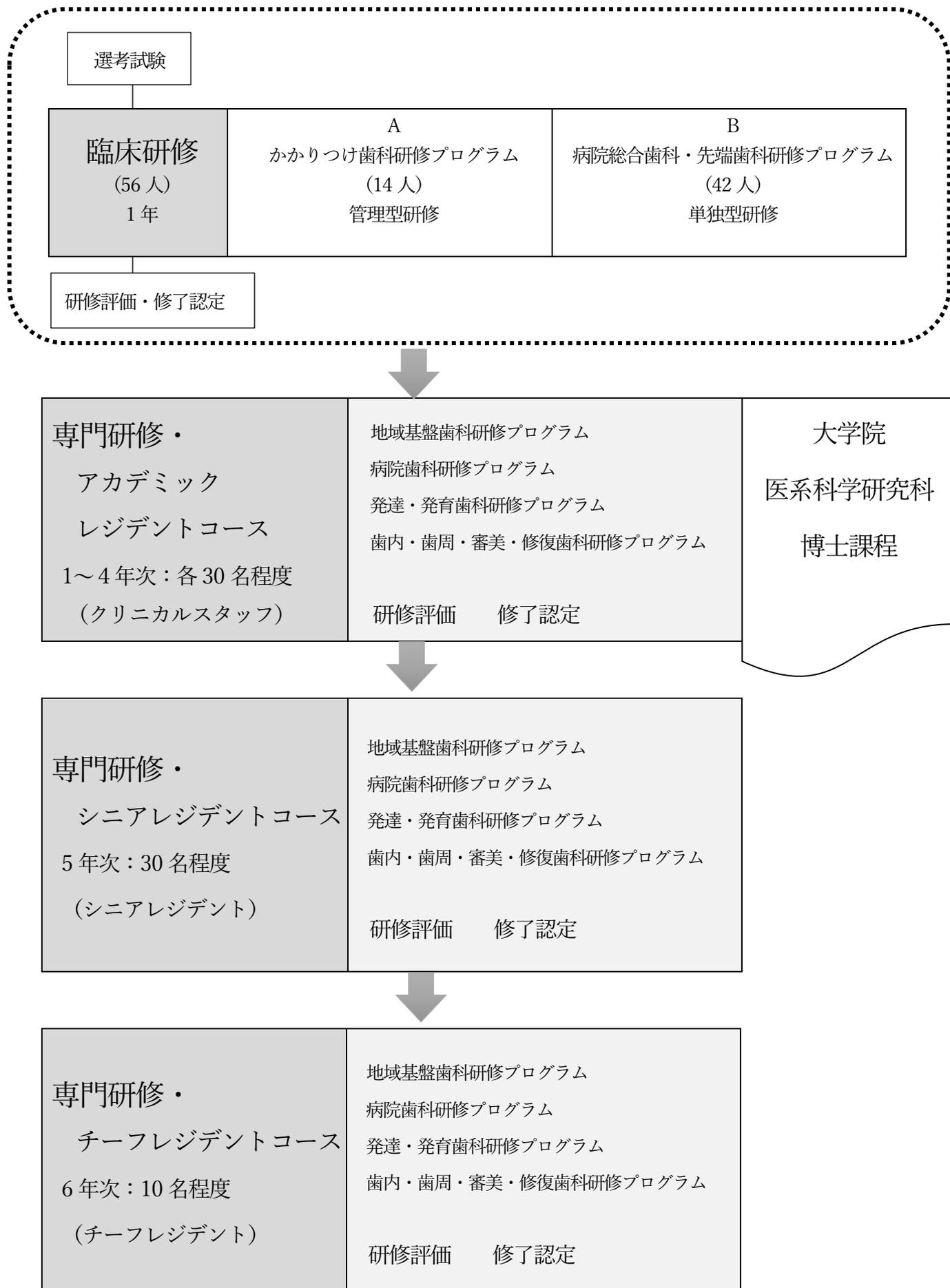
対象:シニアレジデントコース修了者。

GIO:シニアレジデントコース修了後、患者中心の専門歯科医療の実践と、それらの専門歯科医・指導歯科医(臨床インストラクター)の資格を取得するために、1. 包括的総合歯科医療並びに専門歯科医療、2. 臨床教育技法、について高度な臨床能力と教育能力(態度, 技能及び知識)を習得する。

3. 生涯研修(研修登録医)

患者中心の歯科医療についての質の保証と継続的向上を図るために、生涯を通じて、高度な包括的総合歯科医療及び専門歯科医療についての臨床能力(態度, 技能及び知識)を習得する。

広島大学病院 歯科医師臨床研修プログラム概要図



年度別 新専門研修プログラム移行の経過

下線：旧研修プログラム・・・☆

斜体：新研修プログラム・・・★

R3年度 まで	歯科医師臨床研修（1年）			歯科研修医	
	<u>専門研修1年次</u>	<u>大学院1年</u>	<u>シニアレジデントコース</u>	<u>歯科診療医</u>	☆
	専門研修2年次	大学院2年		クリニカルスタッフ	
	専門研修3年次	大学院3年		クリニカルスタッフ	
	専門研修4年次	大学院4年		クリニカルスタッフ	
	<u>専門研修5年次</u>		<u>チーフレジデントコース</u>	<u>歯科診療医</u>	☆



R4年度	法に基づく歯科医師臨床研修（1年）			歯科研修医	
	<i>専門研修1年次</i>	<i>大学院1年</i>	<i>アカデミックコース</i>	<i>クリニカルスタッフ</i>	★
	専門研修2年次	大学院2年		クリニカルスタッフ	
	専門研修3年次	大学院3年		クリニカルスタッフ	
	専門研修4年次	大学院4年		クリニカルスタッフ	
	<u>専門研修5年次</u>		<u>チーフレジデントコース</u>	<u>歯科診療医</u>	☆



R5年度	法に基づく歯科医師臨床研修（1年）			歯科研修医	
	<i>専門研修1年次</i>	<i>大学院1年</i>	<i>アカデミックコース</i>	<i>クリニカルスタッフ</i>	★
	<i>専門研修2年次</i>	<i>大学院2年</i>	<i>アカデミックコース</i>	<i>クリニカルスタッフ</i>	★
	専門研修3年次	大学院3年		クリニカルスタッフ	
	専門研修4年次	大学院4年		クリニカルスタッフ	
	<u>専門研修5年次</u>		<u>チーフレジデントコース</u>	<u>歯科診療医</u>	☆



R6年度	法に基づく歯科医師臨床研修（1年）			歯科研修医	
	<i>専門研修1年次</i>	<i>大学院1年</i>	<i>アカデミックコース</i>	<i>クリニカルスタッフ</i>	★
	<i>専門研修2年次</i>	<i>大学院2年</i>	<i>アカデミックコース</i>	<i>クリニカルスタッフ</i>	★
	<i>専門研修3年次</i>	<i>大学院3年</i>	<i>アカデミックコース</i>	<i>クリニカルスタッフ</i>	★
	専門研修4年次	大学院4年		クリニカルスタッフ	
	<u>専門研修5年次</u>		<u>チーフレジデントコース</u>	<u>歯科診療医</u>	☆



R7年度	法に基づく歯科医師臨床研修（1年）			歯科研修医	
	専門研修1年次	大学院1年	アカデミックコース	クリニカルスタッフ	★
	専門研修2年次	大学院2年	アカデミックコース	クリニカルスタッフ	★
	専門研修3年次	大学院3年	アカデミックコース	クリニカルスタッフ	★
	専門研修4年次	大学院4年	アカデミックコース	クリニカルスタッフ	★
	専門研修5年次		チーフレジデントコース	歯科診療医	☆



全員が新制度となる

R8年度	法に基づく歯科医師臨床研修（1年）			歯科研修医	
	専門研修1年次	大学院1年	アカデミックコース	クリニカルスタッフ	★
	専門研修2年次	大学院2年	アカデミックコース	クリニカルスタッフ	★
	専門研修3年次	大学院3年	アカデミックコース	クリニカルスタッフ	★
	専門研修4年次	大学院4年	アカデミックコース	クリニカルスタッフ	★
	専門研修5年次		シニアレジデントコース	歯科診療医	★



全コース（アカデミック・シニア・チーフ）揃い、移行完了

R9年度 以降	法に基づく歯科医師臨床研修（1年）			歯科研修医	
	専門研修1年次	大学院1年	アカデミックコース	クリニカルスタッフ	★
	専門研修2年次	大学院2年	アカデミックコース	クリニカルスタッフ	★
	専門研修3年次	大学院3年	アカデミックコース	クリニカルスタッフ	★
	専門研修4年次	大学院4年	アカデミックコース	クリニカルスタッフ	★
	専門研修5年次		シニアレジデントコース	歯科診療医	★
	専門研修6年次		チーフレジデントコース	歯科診療医	★



モデルケース（一例）

- 令和3年度 歯科研修医 修了
- 令和4年度 大学院1年生 アカデミックコース開始
クリニカルスタッフとして診療に従事
- 令和7年度 アカデミックコース修了
- 令和8年度 シニアレジデントコース開始 → 修了
歯科診療医として診療に従事
- 令和9年度 チーフレジデントコース開始

参考：様式等

様式 I

Case-Based Reflection(CbR)

患者イニシャル： _____ 年齢 _____ 性別 _____ 新患・引継ぎ

日付	ケースの概要 (初診時の主訴, 検査結果, 全身既往歴, 患者背景, これまでの治療経過等)
日付	治療の内容 (SOAP の概要), 治療・患者の物語
日付	振り返り

【必須コンポーネントIV】 自己研修実績

広島大学病院および各研修協力型施設、または協力施設においてカリキュラムに基づき実施された研修内容以外に、自主的に行った（参加した）研修実績について詳細に記載してください。

※ 必要に応じて、表の欄を追加挿入して使ってください。

1. 参加した会合（学会、講習会、勉強会など）

日程及び期間	会 合 名	研 修 内 容

2. 参加した研修コース（*Clinical Skill Course* など）

日程及び期間	コース名	研 修 内 容

3. その他（研修に関連した社会活動など）

日程及び期間	名 称	研 修 内 容

自己研修計画

表の欄は、必要に応じて、追加挿入して使ってください。

年 月 日

学習すべき項目・内容
行動計画
自己評価・コメント

広島大学病院歯科医師臨床研修到達度評価

年 月 日

形成的／総括的評価

歯科領域卒後臨床研修管理委員会

研修歯科医氏名 _____

指導歯科医名 _____

1. 基本的臨床能力

領域	項目	項目別到達度	領域の総合到達度
知識	想起レベル	A B C D	A B C D
	解釈レベル	A B C D	
	問題解決レベル	A B C D	
態度・習慣	診療・技工	A B C D	A B C D
	患者(家族、付き添い)	A B C D	
	スタッフ、指導医	A B C D	
	同僚、後輩	A B C D	
技術	教育(学習)・研究	A B C D	A B C D
	テクニカルスキル(診療)	A B C D	
	テクニカルスキル(技工)	A B C D	
	コミュニケーション(言語・非言語)	A B C D	
	記録(カルテ、処方、技工指示)	A B C D	
情報収集	文献検索とEBM	A B C D	A B C D
	インタビュー(面接)	A B C D	
	診察(診査)	A B C D	
	検査(臨床検査)	A B C D	
	紹介(照会)状	A B C D	
総合判断	医療情報	A B C D	A B C D
	倫理	A B C D	
	心理	A B C D	
	論理	A B C D	

総合評価 A B C D

2. 総合マネジメント力(TQM, CQI)

領域	項目	項目別到達度	領域の総合到達度
知識	知識(想起レベル)	A B C D	A B C D
	問題点の抽出と分析能力	A B C D	
	問題解決能力	A B C D	
技術	システム作成と管理	A B C D	A B C D
	再評価と分析	A B C D	
	医療経済(費用-効果分析)	A B C D	
態度・習慣	リーダーシップ	A B C D	A B C D
	対人コミュニケーション	A B C D	
	意欲・積極性	A B C D	
情報収集	医療(リスク)、経営、経済	A B C D	A B C D
総合判断	判断力、決断力	A B C D	A B C D

総合評価 A B C D

到達目標を A:極めて十分達成できた、B:十分達成できた、C:一応達成できた、D:達成できなかった

指導歯科医の評価

年 月
広島大学病院(歯科領域)
卒後臨床研修管理委員会

この調査は、今後の臨床研修における指導能力改善のために指導歯科医に対するフィードバックを目的としていますが、相互の個人名の特定は一切不可能になるよう配慮していますので、忌憚のない意見を記入してください。

評価対象： _____

	はい		いいえ	
	4	3	2	1
1) 適切な教育能力を有していると思う	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2) 指導法や指導内容、説明の内容が分かりやすい	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3) 研修歯科医が担当医である患者の状態を把握している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4) 研修歯科医一人ひとりの臨床能力に合った指導ができる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5) 研修歯科医一人ひとりの研修進行状況をよく把握している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6) 診療中の技術的問題点や質問に適切に応じることができる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7) 患者の病態や治療計画・方法などの相談に適切に応じることができる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8) 常に診療のプロセス・内容を指導できる位置にいる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9) 研修歯科医に指導すべきことと専門的知識を区別できる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10) 指導や教育には熱心で積極的である	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
11) 指導時の態度（マナー）や言葉遣いは適切である（感情を交えない）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
12) 研修歯科医の生活や健康状態（病気や精神的ストレス）に留意できる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
総合力評価				
機会があれば、将来また指導を受けたい	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

指導歯科医の自己評価

年 月

広島大学病院(歯科領域)

卒後臨床研修管理委員会

診療科名： _____

		はい		いいえ	
		4	3	2	1
1) 適切な教育能力を有していると思う	<input type="checkbox"/>				
2) 指導法や指導内容，説明の内容が分かりやすい	<input type="checkbox"/>				
3) 研修歯科医が担当医である患者の状態を把握している	<input type="checkbox"/>				
4) 研修歯科医一人ひとりの臨床能力に合った指導ができる	<input type="checkbox"/>				
5) 研修歯科医一人ひとりの研修進行状況をよく把握している	<input type="checkbox"/>				
6) 診療中の技術的問題点や質問に適切に応じることができる	<input type="checkbox"/>				
7) 患者の病態や治療計画・方法などの相談に適切に応じることができる	<input type="checkbox"/>				
8) 常に診療のプロセス・内容を指導できる位置にいる	<input type="checkbox"/>				
9) 研修歯科医に指導すべきことと専門的知識を区別できる	<input type="checkbox"/>				
10) 指導や教育には熱心で積極的である	<input type="checkbox"/>				
11) 指導時の態度（マナー）や言葉遣いは適切である（感情を交えない）	<input type="checkbox"/>				
12) 研修歯科医の生活や健康状態（病気や精神的ストレス）に留意できる	<input type="checkbox"/>				
指導能力の総合評価		良い			悪い
	<input type="checkbox"/>				

研修修了時の評価 卒後臨床研修アンケート

年 月 日

管理型臨床研修施設（広島大学病院）について回答してください。

1. あなたの研修到達度を自己評価すると
 - a. 到達目標を十分達成できた
 - b. 到達目標を達成できた
 - c. 到達目標を一応達成できた
 - d. 到達目標を達成できなかった

2. 本院の歯科医師臨床初期研修に参加して
 - a. 有意義
 - b. どちらでもない
 - c. 無意味

3. 指導歯科医について
 - 1) 指導歯科医の人数は
 - a. 少ない
 - b. 普通
 - c. 多すぎる
 - 2) 指導歯科医の指導法は
 - a. わかりやすい
 - b. 普通
 - c. わかりにくい
 - 3) 指導歯科医の指導能力は
 - a. 低い
 - b. 普通
 - c. 高い
 - 4) 指導歯科医への注文と希望について述べてください。
.

.

.

4. 患者について
 - 1) 担当患者数は
 - a. 少ない
 - b. 適度
 - c. 多すぎる
 - 2) 望ましい患者数は
 - a. 10人未満
 - b. 10-20人
 - c. 20-30人
 - c. 30人以上
 - 3) 担当した患者（症例）には
 - a. かたよりがあった
 - b. 普通
 - c. 適度

5. 研修カリキュラムと内容について
 - 1) 臨床講義，セミナーについて
 - a. 有意義
 - b. どちらでもない
 - c. 無意味
 - 2) 朝のミニレクチャーについて
 - a. 有意義
 - b. どちらでもない
 - c. 無意味
 - 3) 臨床基礎実習（4月）について
 - a. 有意義
 - b. どちらでもない
 - c. 無意味
 - 4) 研修ケースについて
 - a. 有意義
 - b. どちらでもない
 - c. 無意味
 - 5) 総診の各種担当業務は
 - a. 有意義
 - b. どちらでもない
 - c. 無意味
 - 6) 総診の片付け，エント整備
 - a. 有意義
 - b. どちらでもない
 - c. 無意味
 - 7) 総合マネジメント研修
 - a. 有意義
 - b. どちらでもない
 - c. 無意味
 - 8) 医療面接トレーニングについて
 - a. 有意義
 - b. どちらでもない
 - c. 無意味（SPセッションを含む）
 - 9) 患者とのコミュニケーション研修
 - a. 有意義
 - b. どちらでもない
 - c. 無意味（SPセッションを含む）
 - 10) 臨床研修に希望することについて述べてください

・

・

・

6. 臨床研修制度について

- 1) 予備研修（4月）について a. 有意義 b. どちらでもない c. 無意味
- 2) 現行の研修方式は a. 良い b. どちらでもない c. 他の方式が良い
- 3) ローテーションとの併用 a. 良い b. どちらでもない c. 他の方式が良い
- 4) 2年間の臨床研修について a. 必要 b. どちらでもない c. 不必要
- 5) 研修修了時の評価法は a. 良い b. どちらでもない c. 他の方式が良い
- 6) 評価内容を個人に伝えること a. 必要 b. どちらでもない c. 不必要

7) 現行の研修方式についての希望を述べてください。

・

・

・

・

7. 施設と設備について

- 1) 研修セミナー室 a. 十分 b. 普通 c. 不足
 ロッカー，技工室 a. 十分 b. 普通 c. 不足
- 2) 診療室 a. 十分 b. 普通 c. 不足

3) 施設と設備についての全般的な希望を述べてください。

・

・

・

8. 研修歯科医給与について

- 1) 現行の給与 a. 十分 b. 普通 c. 不足
- 2) どれくらいが良いか a. 10万 b. 15万 c. 20万 d. 25万 e. 30万以上

9. 口腔総合診療室

- 1) デンタルスタッフの研修支援 a. 十分 b. 普通 c. 不足
- 2) デンタルスタッフの協力度 a. 十分 b. 普通 c. 不足
- 3) 学生の臨床実習と共存すること a. 良い b. どちらでもない c. 他の方式が良い

4) 口腔総合診療室について希望する事を述べてください

・

・

・

研修環境調査.1

広島大学病院（歯科領域）卒後臨床研修管理委員会

以下の項目は、全て本人における臨床研修に関わる内容です。

本研修に対する、現時点でのあなたの主体的な考えに、最も近いと思われるレベルの□を塗りつぶしてください。

なお本調査は、研修カリキュラムの更なる改善を意図していますが、学会および誌上发表に使用される可能性があることをご了承ください。

評価対象:管理型施設について

	強く同意 する	同意する	どちらでも ない	あまり同意 しない	全く同意 しない
1. 私は、雇用契約に基づき研修を行っている	<input type="checkbox"/>				
2. 指導医は、明確な研修目標を示している	<input type="checkbox"/>				
3. この研修において、私は学習に費やす時間を確保している	<input type="checkbox"/>				
4. 私は、情報に富む研修導入プログラムに参加する機会を得た	<input type="checkbox"/>				
5. 現在の立場において、適切なレベルの責任を有している	<input type="checkbox"/>				
6. 私は、常に適切な診療上の指導を受けることができる	<input type="checkbox"/>				
7. この研修において、差別（男女不平等を除く）が存在する	<input type="checkbox"/>				
8. 研修上、不適切と思われる業務でも実施する必要がある	<input type="checkbox"/>				
9. 情報に富む新人歯科医師用ハンドブック（手引書）が存在する	<input type="checkbox"/>				
10. 指導医は、適切なコミュニケーション能力を有している	<input type="checkbox"/>				
11. 研修上、不適切に呼び出しがかかることがある	<input type="checkbox"/>				
12. 私は、研修に関わるイベント（講習会など）に積極的に参加することができる	<input type="checkbox"/>				
13. この研修において、男女不平等な部分があると感じる	<input type="checkbox"/>				
14. この研修において、明快な臨床プロトコル（マニュアル）が存在する	<input type="checkbox"/>				
15. 指導医は、教育熱心である	<input type="checkbox"/>				
16. 私は、他の歯科医師と良い協力関係を築いている	<input type="checkbox"/>				
17. 私は、自分自身を新しい環境に馴染むよう適合させることができる	<input type="checkbox"/>				
18. 私は、継続的な診療を行う機会が与えられている	<input type="checkbox"/>				
19. 私は、進路相談をする適切な施設（部署、人）を有している	<input type="checkbox"/>				
20. 本院は、学習に専念できる環境（設備、備品）が完備されている	<input type="checkbox"/>				

	強く同意 する	同意する	どちらでも ない	あまり同意 しない	全く同意 しない
21. 自分の必要に応じて受講できる教育プログラムが存在する	<input type="checkbox"/>				
22. 私は上級者（指導医、先輩、看護師等）からたびたびフィードバックを受けている	<input type="checkbox"/>				
23. 指導医は適切に組織されている	<input type="checkbox"/>				
24. 本院の診療環境は、医療従事者の身体的な安全に配慮されている	<input type="checkbox"/>				
25. この研修では、非を責めるような風潮は存在しない	<input type="checkbox"/>				
26. 本院は、休息に利用できる適切な設備（食堂、休憩室等）が完備されている	<input type="checkbox"/>				
27. 私は、臨床に関わる学習をする機会に十分恵まれている	<input type="checkbox"/>				
28. 指導医は適切な教育能力を有している	<input type="checkbox"/>				
29. ここでの業務において、私はチームの一員であることを実感している	<input type="checkbox"/>				
30. 自分のレベルに応じた適切な臨床ケースが与えられている	<input type="checkbox"/>				
31. 指導医とはいつでも連絡可能な体制が構築されている	<input type="checkbox"/>				
32. この研修における仕事量は適切である	<input type="checkbox"/>				
33. 上級者（指導医、先輩、看護師等）は、レクチャー等を効果的に活用して指導している	<input type="checkbox"/>				
34. ここでの研修は、将来認定医や指導医となるために役立つと感じる	<input type="checkbox"/>				
35. 指導医は適切な研修支援能力を有している	<input type="checkbox"/>				
36. 仕事（研修）以外に、趣味などを楽しんでいる	<input type="checkbox"/>				
37. 指導医は、私を一人の独立した学習者として支援してくれる	<input type="checkbox"/>				
38. 本院には、研修上の壁にぶつかった時、修了認定が得られなかった時などに相談できるような、適切な相談施設（部署、人）が存在する	<input type="checkbox"/>				
39. 指導医は、私の長所、短所についての確にフィードバックしてくれる	<input type="checkbox"/>				
40. 指導医は、相互の信頼関係を築くような環境（雰囲気）を提供している	<input type="checkbox"/>				

令和7年度 広島大学病院 研修歯科医 募集要項

1. 名称

広島大学病院歯科医師臨床研修プログラム A
 広島大学病院歯科医師臨床研修プログラム B

2. 研修期間

令和7年4月1日から令和8年3月31日までの1年間

3. 研修プログラムの特徴

患者中心の全人的医療並びに包括的歯科医療を理解し、歯科医師のプロフェッショナリズムを涵養するために、キャリアデザイン(生涯研修)の第一歩として、全ての歯科医師に求められる基本的な臨床能力(態度、技能及び知識)を習得するコースです。

4. 研修プログラム及び募集人員

プログラム名	内容	研修方式	募集人員	計
広島大学病院歯科医師臨床研修プログラムA	かかりつけ歯科研修	臨床研修施設群方式	14人	56人
広島大学病院歯科医師臨床研修プログラムB	病院総合歯科・先端歯科研修	単独方式	42人	

5. 出願要件

令和7年第118回歯科医師国家試験を受験予定者で、マッチングに参加するもの。

6. 出願手続き

(1) 出願締切日

令和6年7月11日(木)17時15分必着

(2) 提出方法

「広島大学病院研修歯科医採用希望者申込フォーム」に必要事項を入力の上、以下(3)提出書類アをメール添付にて提出及び提出書類イ～ウを簡易書留にて郵送または持参してください。

(3) 提出書類等

ア. 顔写真データ

※ JPG(JPEG)形式で保存したもの。

※ 3ヶ月以内に撮影した上半身脱帽のもの。

※ ファイル名を受験者氏名とし、担当者アドレスに送付すること。

イ. 卒業(見込み)証明書(広島大学歯学部卒業(見込み)者は不要)

ウ. CBT 個人成績表(写し)

※ CBT の受験経験がない方は提出不要。

「大学病院研修歯科医採用希望者申込フォーム」の備考欄にその旨を記入すること。

(別途課題の提出を指示します。)

※ 受験者氏名、正答率及び IRT 標準スコアがはっきりと分かるもの。

※ 紛失されている場合、出身大学に保管されていないかお問合せ下さい。

(4) 提出先

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3
広島大学病院 歯科領域臨床教育センター
Mail: byo-rinsyo@office.hiroshima-u.ac.jp

7. 選考方法等

(1) 選考方法

筆記試験及び面接試験

上記試験の成績を総合してマッチング順位を決めます。

(2) 選考(マッチング)試験実施日

実施日:令和6年8月22日(木)

(詳細は,志願者へ 8月5日(月)までに通知します。)

(3) 実施科目等の内容

ア. 筆記試験(歯科英会話程度の英語問題を含む。英和・和英辞典持込み可。ただし, 専門用語の辞典及び電子辞書は不可)

イ. 面接試験

8. 臨床研修プログラム等についての問い合わせ先

広島大学病院 歯科領域臨床教育センター
〒734-8551 広島市南区霞1-2-3
Tel : 082-257-5977 Fax : 082-257-5917
Mail : byo-rinsyo@office.hiroshima-u.ac.jp

9. 臨床研修プログラム説明会の実施について

[日時・場所] 第1回 令和6年6月20日(木) 13:30~17:00 広島大学病院 臨床管理棟2階 2F1会議室
第2回 令和6年7月 4日(木) 13:30~17:00 広島大学病院 臨床管理棟2階 2F1会議室

10. その他

応募書類は返却いたしません。

応募書類により取得する個人情報については,採用者の選考並びに採用後の人事・給与・福利関係に必要な手続き及び統計調査を行う目的で利用するものであり,この目的以外で利用又は提供することはありません。採用に至らなかった方の応募書類は,当該採用選考業務終了後,適切な方法にて破棄します。

新型コロナウイルス感染症の状況により, 選考方法が変更になる場合があります。

令和7年度広島大学病院歯科医師臨床研修プログラム

発行年月 令和7年4月

編集発行 広島大学病院

歯科領域卒後臨床研修管理委員会

歯科領域臨床教育センター運営委員会

所在地 〒734-8551 広島市南区霞一丁目2番3号

電話 (082)257-5748 (河口 浩之 歯科領域卒後臨床研修管理委員会委員長

歯科領域臨床教育センター長)

(082)257-5977 (事務 病院運営支援部総務グループ(臨床実習担当))

ホームページ <https://www.hiroshima-u.ac.jp/hosp/>